令和９年度(2027年度)

横浜国立大学

一 般 選 抜 学 生 募 集 要 項

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供

自然災害、人為災害や疫病・感染症の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のウェブサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、選抜日程・方法等を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。

・横浜国立大学　ウェブサイト　https://www.ynu.ac.jp/

ChatGPT をはじめとする生成AI の利用について

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPT などの生成AI に対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて、各国・地域の方針・法令等も踏まえるようお願いします。

注意事項

生成AI に入力した情報は、AI の学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成AI の出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

目　次

□ 横浜国立大学一般選抜日程の概要 …… 1

1 横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） …… 2
2 入学者選抜の実施方式等 …… 7
3 募集人員 …… 8
4 出願資格 …… 9
5 試験教科・科目 …… １１
6 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の配慮申請 …… ２７
7 前期日程
Ⅰ 出願手続等 …… ２９
Ⅱ 入学者選抜方法等
１．試験科目設定の意図 …… ３７
２．２段階選抜 …… ３８
３．個別テスト等日程（前期日程） …… ３９
４．合格者発表 …… ４０
５．入学手続 …… ４０
8 後期日程
Ⅰ 出願手続等 …… ４２
Ⅱ 入学者選抜方法等
１．試験科目設定の意図 …… ４９
２．２段階選抜 …… ５０
３．個別テスト等日程（後期日程） …… ５１
４．合格者発表 …… ５１
５．入学手続 …… ５２
□Web 出願の流れ …… ５４
9 入試情報の提供等
Ⅰ 入試情報の提供
１．横浜国立大学ウェブサイト …… ５８
２．入試情報の開示 …… ５８
Ⅱ 個人情報の取り扱い …… ５９
10 入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度 …… ６０
□ 学生の住居施設 …… ６１
・受験を要する大学入学共通テストの教科・科目等自己確認表 …… ６５
・横浜国立大学一般選抜出願書類チェックリスト …… ６９
・「こども性暴力防止法」令和8（2026）年 12 月 25 日施行にあたり、出願前にご確認いただきたい重要事項について …… ７０
・キャンパス案内図 …… ７２
・（様式１）自己推薦書（教育学部用） …… ７３
・（様式２）自己推薦書（経済学部・経営学部・理工学部・都市科学部用） …… ７７

横浜国立大学一般選抜日程の概要

大 学 入 学 共 通 テ ス ト
令和９年(2027 年)１月１６日（土）・１７日（日）

↓

一般選抜（分離分割方式）

前期日程	後期日程
↓	↓
ウェブ出願登録期間 **令和９年(2027 年)１月２２日（金）～２月　２日（火）**	
↓	↓
郵送出願期間 **令和９年(2027 年)１月２５日（月）～２月　３日（水）必着**	
↓	↓
受験票通知予定日 **２月１２日（金）**	
↓	↓
個 別 テ ス ト 等 **２月２５日（木）**	**個 別 テ ス ト 等** **３月１２日（金）**
↓	↓
合 格 者 発 表 **３月　６日（土）**	**合 格 者 発 表** **３月２０日（土）**
↓	↓
入 学 手 続 **３月　７日（日）～３月１５日（月）**	**入 学 手 続** **３月２１日（日）～３月２７日（土）**
↓	↓
欠員の補充等（追加合格等）３月２８日（日）～	
↓	↓
令和９年度　入学式 **日程未定**	

1 横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【横浜国立大学（YNU）が求める学生像】

ＹＮＵは、４つの実践的「知」すなわち「知識・教養」「思考力」「コミュニケーション力」「倫理観・責任感」を身に付けた人材の育成を目指す。よって、自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語らい、柔軟な発想と主体的・創造的な課題探究・解決能力を身に付け、社会のリーダーとしてグローバルな共生社会への貢献を目指す次に示す人の入学を求める。

- **入学後の修学に必要な幅広い基礎学力を備え、確かな知識や技能を身に付けたい人**
- **知的好奇心や科学的探究心を持ち、新たな発見やアイディアを創造する思考力や判断力を獲得したい人**
- **社会が直面する諸課題を解決するために、多様な人々と協働して主体的に社会へ参画する強い意志と責任感を持ちたい人**
- **国境を超えたグローバル時代において、外国人学生と共にコミュニケーション力を高め、世界を舞台に発信・飛躍したい人**
- **大学院に進学し、さらに高度の知識・技能を身に付け、高度専門職業人として社会に貢献したい人**

【横浜国立大学（YNU）の大学入学者選抜の基本方針】

ＹＮＵの大学入学者選抜は、入学者が高等学校段階までに身に付けた力を、大学が発展・向上させ、社会に送り出す大学教育システムを前提に、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）の卒業認定・学位授与の方針（Policy１ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（Policy２カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる入学志願者に求める学力を構成する３つの要素（※）を多面的・総合的に評価するものとする。学部、学科・課程は、高等学校で履修すべき科目等をあらかじめ具体的に明示するとともに、大学入学後の教育課程プログラムとの関連を十分に踏まえつつ、次に掲げる学力検査の実施方針に基づき入試方法の多様化、評価尺度の多元化に努める。

（※）学力を構成する３つの要素

- 基礎的・基本的な知識・技能
- 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力
- 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

ＹＮＵでは、学士課程における教育目標の達成のため、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の３つのポリシーに加え、学士課程教育の質保証の方針（教学マネジメントPDCA・ポリシー）を含めた４つの方針について明確化し、公表しています。https://www.ynu.ac.jp/education/plan/initiative/

学力検査等の実施方針

■ 本学が実施する教科・科目に係る個別テスト（以下、「個別テスト」という。）等は、高等学校学習指導要領に準拠し、高等学校教育の正常な発展の障害とならないよう十分留意し、適切な方法により実施する。
■ 個別テスト等を実施する教科・科目は、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに、卒業認定・学位授与の方針（Policy１ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（Policy２カリキュラム・ポリシー）を踏まえ設定する。
■ 総合型選抜は、知識・技能の修得状況に重点を置いた選抜基準とせず、口頭試問等の検査、大学入学共通テストの成績などの活用により入学志願者の能力、適性、意欲、関心等を多面的、総合的に判定する。
■ 学校推薦型選抜は、高等学校の教科の学習成績概評を出願要件や合格判定に用い、筆記や実技、口頭試問等の検査、大学入学共通テストの成績などの活用により入学志願者の能力・適性等を多面的、総合的に判定する。
■ 帰国生徒選抜・外国学校出身者選抜は、外国における教育事情の違いなどに鑑み、広く入学志願者の能力・適性等に応じ選抜がなされるよう学力検査の全部又は一部免除を図り、小論文や面接等を適切に組み合わせて入学志願者の能力・適性等を多面的、総合的に判定する。

各学部の入学者受入方針

１．教育学部

教育学部の教育理念は、教育現場の未来を支えるべく、多面的かつ包括的な視野と洞察力とを兼ね備え、社会の変化に柔軟に対応できる次世代の教員養成を目指すことにある。教育学部（学校教員養成課程）は、学校教育に関心が高く、教員として子供の学びへの支援の方法を能動的かつ協働的に創造していこうとする強い熱意を有する、次に示す人を求める。

■ 教員として、子供とコミュニケーションをとりながら共に学び続けたい人
■ 学校教育の充実、創造に貢献したい人
■ 特別支援教育の充実、創造に貢献したい人
■ 現代的な教育課題に対して、他者と協働的に広い視野に立った解決策を構想し実践したい人

２．経済学部

経済学部は、経済社会の重要な問題を把握し、明晰な分析能力を備えて、問題解決の方向を探究する力をもち、必要な情報にアクセスしてそれらを情報発信できる力をもった人材の育成を目指す。よって、次に示す人の入学を求める。

■ 経済・社会・歴史・制度・法律に深い関心をもち、世界経済を長期的に展望する能力を育み、国際社会が抱える問題の解決に取り組みたい人
■ 市場システム・経済社会制度を学び、経済学的手法で経済社会の諸問題の解決に挑戦したい人
■ 必要な情報に自分からアクセスして自己の思考で整理し、さらに自ら情報を発信する力を身に付けたい人

３．経営学部

経営学部では、経済活動を通じて社会における課題の解決に貢献する人材の育成を目指し、次のような人を求める。

■ 消費者や企業等の経済活動に関心を持つとともに、社会において解決すべき課題を自ら発見する意欲を有している人
■ 経営学、会計学、マーケティング、オペレーション・マネジメント、ファイナンスといった分野で学習した内容を社会的な課題の分析、および、解決策の導出に生かしたいと

考えている人
■ 創造的かつ独創的な視点に立ち、社会的課題の解決までの道筋を見出すとともに、その実行に向けて、周囲の人々と共に目標を達成する協調性を備えている人

４．理工学部

■ 自然科学の真理探究や独創的なものづくりを通して、自ら成長・発展しようとするチャレンジ精神にあふれ、新しい時代に対応できる理工系のセンスを磨き、国際的視野を持って多様性を尊重し世の中への貢献を志す人

【機械・材料・海洋系学科が求める学生像】

■機械工学、材料工学、または海洋空間のシステムデザインの分野に興味を持ち、ミクロから宇宙までの様々なスケールの事象に対して知恵と技術さらにモノと情報を用いることで、環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人
■自由と責任を有する大人としての自立性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力を持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人

機械工学教育プログラム

● 自動車、航空・宇宙、ロボット、福祉・医療など、様々な分野で利用される機械やシステムに興味を持っている人
● 機械工学の知識やものづくりの技術を生かして、持続可能で心豊かな社会を構築することに貢献したい人

材料工学教育プログラム

● 材料工学に強い関心を持ち、新材料やその応用技術を開発したいと希望する人
● 物理や化学に基づいた、材料の様々な性質が生み出される仕組みの解明に興味がある人
● 既在の材料や製造プロセスに環境負荷低減技術を積極的に導入したいという意欲にあふれる人

海洋空間のシステムデザイン教育プログラム

● 環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる“未来型の船舶や航空機”、世界中に潜在する海洋エネルギーや海底資源の利用を推進するための“斬新な海洋構造物”の設計エンジニアになりたい人
● 海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする“船舶 、航空機 、人工衛星の運用”の最適化を通して、人や物資や情報の流れを作り、世界を 1 つにすることを目指したい人

【化学・生命系学科が求める学生像】

■ 自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな 21 世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人
■ 向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人

化学教育プログラム

● 化学の基礎知識を十分備え、さまざまな自然科学の知識を活用して、現象の真理を原子や分子レベルから探究することのできる研究者、および最先端化学を駆使することで、地球規模で人類が抱える諸問題解決や新しい機能性材料、エネルギー化学の創造に貢献できる技術者を目指す人

化学応用教育プログラム

● 化学の基本知識を応用し、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる研究者・技術者を目指す人

バイオ教育プログラム

● 生物学、化学、物理学を基礎とする現代生物学の方法を通して生命を理解し、その

成果を食糧問題や生命・医療などのグローバルな課題の解決に応用できるバイオ関連の技術者・研究者を目指す人

【数物・電子情報系学科が求める学生像】

■ 数学、物理の基本原理を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があって、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人

■ 数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人

数理科学教育プログラム

● 数学を中心とする学術分野である数理科学を縦横に活用して社会に貢献したい人、また、数理科学の発展に貢献し国際的に活躍したい人

● 近年の情報科学の発展にも興味があり、その先進的な知見・技術を活用するとともに、数学的手法も駆使し、世の中の複雑な現象を理解したり、社会の問題を解決したい人

物理工学教育プログラム

● 宇宙、素粒子、様々な物質系などの性質を物理学の手法を用いて探究することに関心のある人

● 物理学を深く理解したうえで、工学の幅広い分野で常に原理に立ち返って新しい科学技術を生み出したい人

電子情報システム教育プログラム

● 電気・電子・通信・情報工学の分野に興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする意欲がある人

● 電気・電子・通信・情報工学の分野で、国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲がある人

● 電気・電子・通信・情報工学の分野の研究者・科学者として、得られた知見を主体的に社会に還元することに意欲がある人

● 電気・電子・通信・情報工学の高い専門性に加え、柔軟性、想像力、実践力、社会とのコミュニケーション力を身に付け、多様な視点に基づいて、複雑化する社会の課題解決に貢献することに意欲のある人

情報工学教育プログラム

● 情報学・情報工学の基礎から応用までを身に付け、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献する意欲を持った人

● 人の優れた知能や能力をコンピュータ・機械で実現し、人を支援することで、人を中心とした豊かで安全・安心な未来社会を実現したいと考えている人

５．都市科学部

■ 理工系と人文社会系の知識を学ぶことで文理両面やダイバーシティ（多様性）の視点、複眼的思考を身に付けたい人

■ ローカル・グローバルにわたる多次元的な世界を相互理解できる広い視野をもち、横断的な課題解決能力、総合力を身に付けたい人

■ 上記の視点と視野・知識・能力・技術を身に付けて、街づくり、都市文化・社会基盤構築、自然との調和で都市の未来に貢献したい人

【都市社会共生学科が求める学生像】

■ 人文社会科学分野の知識や技能を活用し、われわれの未来にとって豊かで美しく、国際的・文化的に魅力のある都市社会の発展に寄与したい人

■ 歴史・文化・地域・社会に関する深い理解にもとづいて、現代社会、都市社会の多様な課題を考究し、時代や状況に応じた制度づくりや新しい芸術・文化の構想によってこれからの社会に貢献したい人

■ 地球的な視野を持ってダイバーシティ（多様性）がはらむ創造的な可能性、および格差や貧困などの問題を把握し、人間生活の社会の向上のための活動を国内外で行

いたい人

【建築学科が求める学生像】

- ■ 建築の思想を中心に芸術から工学まで幅広く学び、これからの時代を担う建築を都市の中に構想できる創造的な建築家になりたい人
- ■ 自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- ■ 自然と調和した住空間のデザインスキルを身に付け、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- ■ 都市や建築の成り立ちや歴史的変遷を知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを実践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人
- ■ 建築や都市に関する知見を生かして、地域社会や国際社会のファシリテーションやマネジメントに積極的に関わっていきたい人

【都市基盤学科が求める学生像】

- ■ 自然環境との調和や共生など地球的観点に立ってより良い都市や国土の創造に興味がある人
- ■ 地震、台風、火山、豪雨、津波などの自然災害から都市や社会を守るために、土木工学の基礎学理をリスクマネジメントに応用して、防災・減災の取り組みをしたい人
- ■ IT/ビッグデータなどの最先端技術/情報と土木工学を融合させ、社会基盤の整備、維持管理や運用に利活用して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- ■ 世界の政治や社会、経済状況に広く関心を持ち、社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

【環境リスク共生学科が求める学生像】

- ■ 複雑で多様化した環境リスクに対し、ヒトから都市、自然生態系、地球までのシステム全体を視野に入れた知識展開力を身に付けたい人
- ■ 豊かさと表裏一体で生じるリスクとバランスをとる「リスク共生」社会の実現をめざし、自然環境と社会環境のリスクを科学的に捉える数理的思考力と、ヒト・社会と対話できる社会科学的思考力を併せ持つ文理融合的素養を身に付けたい人
- ■ 都市に恵みや災いをもたらす自然システムや都市や地域に潜む環境リスクを予測・評価・分析し、リスクと共生した持続的発展に貢献できる実践力を身に付けたい人

2　入学者選抜の実施方式等

１．一般選抜の実施方式

本学の一般選抜は「分離分割方式」（同一大学・学部を前期日程及び後期日程の二つのグループに分け実施する方式）により実施します。

試験実施日

前期日程　　令和９年(2027 年) ２月２５日（木）

後期日程　　令和９年(2027 年) ３月１２日（金）

２．一般選抜への出願

志願者は、国立大学・学部のうち、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から１つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から１つの合計２つの大学・学部に出願することができます。

従って、「前期日程－後期日程」（本学と他大学、または本学と本学）の併願は認められますが、「前期日程－前期日程」（本学と他大学、または本学と本学）、「後期日程－後期日程」（本学と他大学、または本学と本学）の併願は認められませんので注意してください。

なお、「前期日程」の試験に合格し令和９年(2027 年) ３月１５日（月）までに入学手続を行った者は、「後期日程」に出願済みであってもその合格者とはなりません。

３．本学の学内併願

本学では、「前期日程」試験を実施する学部・学科（課程）と「後期日程」試験を実施する学部・学科との併願ができます。

なお、学内併願の場合であっても、出願書類は日程別にそれぞれ提出する必要があります。

また、学部、学科（課程）等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない者の併願は認められませんので注意してください。

４．学校推薦型選抜及び総合型選抜に合格した場合の取り扱い

本学又は他の国公立大学の学校推薦型選抜に合格した者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学の定める入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除き、本学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

本学又は他の国公立大学の総合型選抜に合格した者は、当該総合型選抜を実施する大学の定める入学辞退手続により入学を辞退した場合を除き、本学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

５．「入試過去問題活用宣言」への参加

(1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。

(2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者に分かるような形で公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のウェブサイトにて公表しています。

https://www.nyushikakomon.jp/

3 募集人員

学部	学科・課程・コース・教育プログラム(EP)等			入学定員(注1)	一般選抜募集人員（人）		
					前期日程	後期日程	計
教育学部	学校教員養成課程	言語・文化・社会系教育コース		182	32(注2)	(注3)	32
		自然・生活系教育コース			29(注2)		29
		芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽専門領域		7(注2)		7
			美術専門領域		5(注2)		5
			保健体育専門領域		7(注2)		7
			心理学専門領域		8(注2)		8
			特別支援教育専門領域	18	12(注2)		12
	小　　計			200	100		100
経済学部	経済学科	一般プログラム		258	125	75	200
		DSEP (Data Science EP)			10(注4)	10(注4)	20
		LBEEP (Lawcal Business Economics EP)			10(注4)	5(注4)	15
	小　　計			258	145	90	235
経営学部	経営学科	一般プログラム		297	148	78	226
		DSEP (Data Science EP)			10(注4)	4(注4)	14
	小　　計			297	158	82	240
理工学部	機械・材料・海洋系学科		機械工学EP	185	56	50	106
			材料工学EP		18	16	34
			海洋空間のシステムデザインEP		17	8	25
	化学・生命系学科		化学EP・化学応用EP・バイオEP	187	86	66	152
	数物・電子情報系学科		数理科学EP	310	20	15	35
			物理工学EP		60	30	90
			電子情報システムEP		60	37	97
			情報工学EP		45	25	70
	小　　計			682	362	247	609
都市科学部	都市社会共生学科			74	30	8	38
	建築学科			70	40	19	59
	都市基盤学科			48	18	12	30
	環境リスク共生学科			56	33	10	43
	小　　計			248	121	49	170
合　　計				1,685	886	468	1,354

注1 入学定員には、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、外国学校出身者選抜、YGEP-N1及びYOKOHAMA SOCRATES PROGRAMの募集人員が含まれています。

注2 教育学部の各コース・専門領域の募集人員は予定数であり、志願状況等により合格者数に増減があります。

注3 教育学部学校教員養成課程は、後期日程の募集を行いません。

注4 経済学部DSEP・LBEEP及び経営学部DSEPは、選抜の結果、合格者数が募集人員に満たない場合があります。詳細は３４ページ、４６ページをご確認ください。

(備考)

1．学校推薦型選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、次のとおり補充します。
(1)理工学部については、前期日程試験の合格者で補充します。
(2)経営学部については、後期日程試験の合格者で補充します。

2．総合型選抜または帰国生徒選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、前期日程試験の合格者で補充します。

3．YGEP-N1の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、後期日程試験の合格者で補充します。

4　出願資格

一般選抜に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和９年度(2027年度)大学入学共通テストにおいて、各学部・学科等が指定する教科・科目のすべてを受験した者です。
（本学では大学入学共通テスト成績の過年度利用は行いません。必ず令和９年度(2027 年度)大学入学共通テストを受験してください。）

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和９年(2027年)３月までに卒業見込みの者
(2) 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び令和９年(2027年)３月までに修了見込みの者
(3) 学校教育法施行規則第１５０条第１号から第５号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和９年(2027年)３月３１日までにこれらに該当する見込みの者（※）
※外国にある学校（インターナショナルスクール等）の課程を修了した者は、出願資格が認められない場合がありますので、出願資格の有無を確認したい場合には、出願前のできるだけ早い時期に学務・国際戦略部入試課（連絡先は１０ページを参照）に連絡をしてください。
(4) 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの及び令和９年(2027年)３月３１日までに１８歳に達するもの

【参考】
学校教育法施行規則第１５０条の規定内容
１．外国において学校教育における１２年の課程を修了した者及び令和９年(2027年)３月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
２．　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和９年(2027年)３月までに修了見込みの者
３．専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和９年(2027年)３月までに修了見込みの者
４．文部科学大臣の指定した者
５．高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和９年(2027年)３月３１日までに合格見込みの者で、令和９年(2027年)３月３１日までに１８歳に達するもの
５の２．学校教育法第九十条第二項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和四年文部科学省令第十八号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
６．学校教育法第９０条第２項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
７．大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの及び令和９年(2027年)３月３１日までに１８歳に達するもの

【個別の入学資格審査により出願する場合の手続】

前記出願資格(4)により出願する場合は、本学への出願前に必ず個別の入学資格審査を申請し、認定を受けてください。（前記出願資格(1)～(3)により出願する場合は、この手続を行う必要はありません。）

(1) 入学資格認定申請書の入手方法

本学ウェブサイト（https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/qualification.html）から、入学資格認定申請書（本学所定様式）をダウンロードおよび印刷してください。

(2) 審査要件（①～③いずれにも該当することが必要です。）

① 専修学校、各種学校その他の教育施設（学校教育法第１条に掲げるものを除く。）において３年以上の学習歴があり、おおむね７４単位（２,５９０単位時間）相当以上（平成１１年度以前の入学者にあっては８０単位（２,８００単位時間）相当以上。単位（単位時間）については、高等学校学習指導要領による。）修得している者又は令和９年(2027年)３月修得見込みの者。

② 前号の単位（単位時間）には、おおむね国語（相当する教科を含む。以下の各教科において同じ。）、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の５教科の単位（単位時間）を含んでいること。

③ １８歳に達したもの及び令和９年(2027年)３月３１日までに１８歳に達するもの。

(3) 申請期間

（第１回申請期間）受付は終了しています。

郵送受付：令和８年(2026年)８月　３日（月）　～８月２１日（金）【必着】書留速達郵便に限る 窓口受付：令和８年(2026年)８月２０日（木）　・８月２１日（金） ８：３０～１２：４５及び１３：４５～１７：００

（第２回申請期間）

郵送受付：令和９年(2027年)１月１５日（金）～１月１９日（火）【必着】書留速達郵便に限る 窓口受付：令和９年(2027年)１月１８日（月）～１月１９日（火） ８：３０～１２：４５及び１３：４５～１７：００

（第３回申請期間）

窓口受付のみ：令和９年(2027年)１月２５日（月）１７時までに本学学務・国際戦略部入試課に申し出ること。 ※対象は大学入学共通テスト追試験受験者のみ。 ※大学入学共通テスト追試験許可書を提示すること。

(4) 提出書類

① 入学資格認定申請書（本学所定様式）

② 調査書（各教科・科目の学習記録等が含まれているもの。）又は、最終出身学校等の卒業（見込）証明書及び成績証明書

③ 出身学校等のカリキュラム表等、教育課程が確認できる書類

④ 入学資格審査結果の通知を受け取るための返信用封筒（長形３号。申請者氏名・住所を明記し、７６０円分の切手を貼付すること。）

(5) 提出書類の送付先

横浜国立大学学務・国際戦略部入試課

〒２４０－８５０１　横浜市保土ケ谷区常盤台７９－８

（TEL.０４５－３３９－３１２１）

5 試験教科・科目

（1）教育学部

【学校教員養成課程 言語・文化・社会系教育コース、自然・生活系教育コース、芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注2）
前期日程（81名）（注1）	国語	「国語」
	地理歴史	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」 から1又は2
	公民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」
	理科	(a)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (d)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 (a)～(d)のいずれか 地理歴史・公民から2科目の場合、理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から1科目の場合、理科は(c)又は(d)
	数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1
	情報	「情報Ⅰ」

地理歴史・公民から1科目の場合〔6教科8科目〕
地理歴史・公民から2科目の場合〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注3）	2段階選抜
前期日程（81名）（注1）	その他	集団面接試験（調査書及び自己推薦書の評価を含む）と小論文（教育課題論文）試験	実施しない

（注1） 1．各コース・専門領域の募集人員は、「言語・文化・社会系教育コース」32名、「自然・生活系教育コース」29名、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学専門領域）」8名、「芸術・身体・発達支援系教育コース（特別支援教育専門領域）」12名です。
2．「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」に入学した者は、そのコース内のいずれかの専門領域に進むことになります。「芸術・身体・発達支援系教育コース」の各専門領域に入学した者は、それぞれの専門領域に所属し、他のコース・専門領域に進むことはできません。
3．選抜の結果によっては、合格者数が各コース・専門領域の募集人員に満たない場合があります。

（注2） 1．「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。
2．「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めます。
3．「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)又は(d)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
4．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）
5．「地理歴史」・「公民」において2科目選択する場合の組み合わせは、６８ページ「共通テスト　地理歴史・公民２科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧」を参照してください。

（注3） 1．高い学力を有し、かつ、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するため、受験者全員に集団面接試験を課します。
2．「小論文（教育課題論文）試験」の内容は、以下のとおりです。
教育に関する日本語の文章をはじめ絵・図・表などの読み解き、あるいはそれらに基づいた文章の作成などにより、読解力・文章作成力・論理的思考力などの教員になる上での基礎的な資質を評価します。（なお、設問によっては、一部に英文を含むこともあります。）
3．面接試験の結果によっては、大学入学共通テストの成績と個別テスト等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。

③配点

試験の区分	前期日程								
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	面接	小論文	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	－	－	1000
個別テスト等	－	－	－	－	－	－	200	200	400
合計	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	200	200	1400

（注）1．大学入学共通テスト「地理歴史」・「公民」及び「理科」において、「地理歴史」・「公民」の得点に採用された科目が1科目の場合、（ ）内の配点で計算します。
2．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

200点満点　リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

【学校教員養成課程 芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注2）
前期日程（19名）（注1）	国語	「国語」
	地理歴史	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」 から1又は2
	公民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」
	理科	(a)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (d)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 (a)～(d)のいずれか
	数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1
	情報	「情報Ⅰ」
		地理歴史・公民から2科目の場合、理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から1科目の場合、理科は(c)又は(d) 地理歴史・公民から1科目の場合〔6教科8科目〕 地理歴史・公民から2科目の場合〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注3）	2段階選抜
前期日程（19名）（注1）	その他	集団面接試験（調査書及び自己推薦書の評価を含む）と選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」、「美術の実技」、「体育の実技」	実施しない

音楽の実技	次の1、2の試験を課す。2については14ページ「④実技検査」の【実技試験の詳細】を参照のうえ、 選択肢①②③の中から1つを選び、受験すること。 1．聴音　2声の書き取り（大譜表、8小節程度） 2．実技試験 ①　ピアノA＋声楽B ②　声楽A＋ピアノB ③　ピアノ以外の楽器＋ピアノB＋声楽B
美術の実技	次の1、2の試験を課す。 1．鉛筆デッサン 2．総合的な造形
体育の実技	次の実技検査を課す。 次の5領域から4領域選択すること。各領域を構成する下記種目の実技検査を行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。 ①器械運動（マット運動、鉄棒運動） ②陸上競技（短距離走、ハードル走、走り幅跳び） ③ダンス（創作ダンス） ④球技（バスケットボール、サッカー、バレーボール、バドミントン） ⑤武道（柔道） 注）各領域で実施する種目は、全受験者共通とし、当日指定する。

（注1）
1．各専門領域の募集人員は、「音楽専門領域」7名、「美術専門領域」5名、「保健体育専門領域」7名です。入学後は、選択した専門領域に所属し、他のコース・専門領域に進むことはできません。
2．選抜の結果によっては、合格者数が各コース・専門領域の募集人員に満たない場合があります。

（注2）
1．「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。
2．「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めます。
3．「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)又は(d)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
4．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）
5．「地理歴史」・「公民」において2科目選択する場合の組み合わせは、68ページ「共通テスト　地理歴史・公民2科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧」を参照してください。

1．高い学力を有し、かつ、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するため、受験者全員に集団面接試験を課します。
2．実技検査では、学校教員として必要となる実技能力を備えているか、評価します。実技検査の詳細については14ページを参照してください。
3．面接試験の結果によっては、大学入学共通テストの成績と個別テスト等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。

③配点

試験の区分	前期日程								
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	面接	実技	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	―	―	1000
個別テスト等	―	―	―	―	―	―	200	200	400
合計	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	200	200	1400

（注）１．大学入学共通テスト「地理歴史」・「公民」及び「理科」において、「地理歴史」・「公民」の得点に採用された科目が１科目の場合、（ ）内の配点で計算します。
２．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。

200 点満点　リーディング 100 点×1.6＋リスニング 100 点×0.4

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算します。

④実技検査

音楽	次の１、２の試験を課す。２については下記【実技試験の詳細】を参照のうえ、 選択肢①②③の中から１つを選び、受験すること。 １．聴　音　　２声の書き取り（大譜表、８小節程度） ２．実技試験 ①　ピアノ A＋声楽 B ②　声楽 A＋ピアノ B ③　ピアノ以外の楽器＋ピアノ B＋声楽 B 【実技試験の詳細】 ◆ピアノ A W.A.モーツァルトのピアノ・ソナタの中から任意の１曲を選択し（K.282 を除く）、第 1 楽章を暗譜で演奏する（繰り返しは省略）。 注）ピアノ・ソナタ集（W.A.モーツァルト）には、「幻想曲」ハ短調 K.475 が収録されているが、K.282 と同様に選択肢から除外する。 ◆ピアノ B J.S.バッハ：「インヴェンション２声」の中から任意の１曲を演奏する（視奏も可）。 ◆声楽 A 次の曲の中から任意の１曲を選び、原語の歌詞、暗譜で歌う。調は（　　）内に指定したものから選ぶこと。 T. Giordani　：　Caro mio ben（ハ長調、変ホ長調、ヘ長調） L. Mancia（伝 S.Rosa）　：　Star vicino（ト長調、イ長調、変ロ長調） ◆声楽 B 「コンコーネ 50 番　Op.9」の第 16 番を歌う。 注１）移動ド、固定ド、もしくは母音による視唱とする。 注２）低声・中声・高声用(調性は全音楽譜出版社の楽譜を参照)のいずれかを各自が選択すること。 ◆ピアノ以外の楽器（電子楽器を除く） ５分程度の任意の１曲を演奏する（暗譜または視奏、伴奏は無し）。 注）入学後の器楽指導はピアノが中心となる。 ※ 筆記用具、昼食、上履きを持参すること。
美術	次の１、２の試験を課す。 １．鉛筆デッサン(Ｂ３画用紙に人物デッサン。２時間) ＊　鉛筆デッサンに必要な用具を持参すること。 ２．総合的な造形（抽象形体と具象形体による立体造形。２時間） テーマ：　紙粘土による幾何形体と野菜や果実を配した立体造形（野菜や果実のみ彩色を施す） ＊　着色用具一式（アクリル絵の具、パレット、筆、筆洗、雑巾）を持参すること。 ※ 昼食を持参すること。
体育	次の実技検査を課す。 次の５領域から４領域を選択すること。各領域を構成する下記種目の実技検査を行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。 ①　器械運動（マット運動、鉄棒運動） ②　陸上競技（短距離走、ハードル走、走り幅跳び） ③　ダンス（創作ダンス） ④　球技（バスケットボール、サッカー、バレーボール、バドミントン） ⑤　武道（柔道） 注 1）各領域で実施する種目は、全受験者共通とし、当日指定する。 注 2）運動着および運動靴（体育館用並びに屋外用）を用意すること。なお、武道を選択する者は柔道着も用意すること。 注 3）運動着の前後にゼッケン（20 ㎝×20 ㎝の白布に受験番号を黒書したもの）を縫い付けること。 安全ピンの使用は禁止する。ただし、柔道着のゼッケンは背中だけで良い。 ※ 昼食を持参すること。

（2）経済学部
【経済学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注1）
前期日程 （145名）内訳： 一般　125名 DSEP（ディーセップ）　10名 LBEEP（エルビープ）　10名	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」から1又は2 「公共，倫理」、「公共，政治・経済」 (a)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 （注2）地理歴史・公民から2科目の場合、理科は(a)又は(b)／地理歴史・公民から1科目の場合、理科は(c) 地歴・公民から1科目の場合〔6教科8科目〕 地歴・公民から2科目の場合〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕
後期日程 （90名）内訳： 一般　75名 DSEP（ディーセップ）　10名 LBEEP（エルビープ）　5名	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」から1 「公共，倫理」、「公共，政治・経済」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 （注3） 〔6教科7科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注4）	2段階選抜
前期日程 （145名）内訳： 一般　125名 DSEP（ディーセップ）　10名 LBEEP（エルビープ）　10名	数学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程 （90名）内訳： 一般　75名 DSEP（ディーセップ）　10名 LBEEP（エルビープ）　5名	数学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ 数学又は外国語を出願時に選択（注5）（注6）	実施しない

（注1）1．「英語」についてはリスニングを含みます。(「リスニング」の免除を許可された者を除く。)
2．「地理歴史」・「公民」において2科目選択する場合の組み合わせは、６８ページ「共通テスト　地理歴史・公民２科目受験時に選択可能は組み合わせ一覧」を参照してください。
3．「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。

（注2）1．「地理歴史」・「公民」から2科目受験し、「理科」について基礎を付した科目及び基礎を付していない科目の両方の科目を受験した場合、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2．「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。

（注3）1．「地理歴史」及び「公民」において2科目受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2．「理科」について2科目受験した場合には第1解答科目の得点を合否判定に用います。

（注4）個別テストで課す数学の出題範囲
1．「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」については全範囲とします。
2．「数学A」については「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」とします。

（注5）後期日程については、「数学」又は「外国語」を出願時に選択して受験してください。

（注6）後期日程でDSEPを志望する者について、「数学」を出願時に選択して受験してください。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	1000	200	100	200	100	200	100	900
個別テスト等	－	－	400	－	400	－	800	－	－	＊800	－	＊800	－	800

（注）１．大学入学共通テスト「地理歴史」・「公民」及び「理科」において、「地理歴史」・「公民」の採用された科目が１科目の場合には、（ ）内の配点で計算します。
２．配点に＊印を付してある教科は選択教科を表します。
３．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。

200 点満点　リーディング 100 点×1.6＋リスニング 100 点×0.4

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算します。
４．大学入学共通テストの合計点と個別テストの合計点をそれぞれ偏差値に換算し、1 対 1 の比率で合計します。大学入学共通テストの偏差値は、個別テスト受験者全体のものとします。

（3）経営学部
【経営学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注1）
前期日程 （158名）内訳： 一般　148名 DSEP（ディーセップ）　10名	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」　から1 「公共，倫理」、「公共，政治・経済」　から1 「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科7科目〕
後期日程 （82名）内訳： 一般　78名 DSEP（ディーセップ）　4名	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」　から1 「公共，倫理」、「公共，政治・経済」　から1 「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科7科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注2）	2段階選抜
前期日程 （158名）内訳： 一般　148名 DSEP（ディーセップ）　10名	数学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ 数学又は外国語を出願時に選択（注3）（注4）	実施しない
後期日程 （82名）　内訳： 一般　78名 DSEP（ディーセップ）　4名	数学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない

（注1）1．「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2．「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。
3．「理科」について基礎を付した科目及び基礎を付してない科目の両方の科目を受験した場合、又は、基礎を付していない科目を2科目受験した場合には、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
4．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

（注2）個別テストで課す数学の出題範囲
1．「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」については全範囲とします。
2．「数学A」については「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」とします。

（注3）前期日程については「数学」又は「外国語」を出願時に選択して受験してください。

（注4）前期日程でDSEPを志望する者については、「数学」を出願時に選択して受験してください。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	100	200	100	900	100	50	100	50	100	50	450
個別テスト等	－	－	＊450	－	＊450	－	450	－	－	225	－	225	－	450
合計	－	－	－	－	－	－	－	100	50	325	50	325	50	900

（注）１．大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
２．配点に＊印を付してある教科は選択教科を表します。
３．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディングとリスニングの配点比率を４対１として、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200 点満点　リーディング 100 点×1.6＋リスニング 100 点×0.4
後期日程：100 点満点（リーディング 100 点×1.6＋リスニング 100 点×0.4）×0.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を前期日程では 200 点満点、後期日程では、100 点満点に換算します。
４．前期日程では大学入学共通テストの合計点と個別テストの合計点をそれぞれ偏差値に換算し、２対１の比率で合計します。大学入学共通テストの偏差値は、個別テスト受験者全体のものとします。
５．後期日程では大学入学共通テストと個別テスト等の成績を１対１の比率に換算します。

（4）理工学部
【機械・材料・海洋系学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注1）
前期日程（91名） 機械工学ＥＰ 材料工学ＥＰ 海洋空間のｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝＥＰ	国　語 地理歴史 公　民 数　学 理　科 外国語 情　報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」、「公共，倫理」、「公共，政治・経済」　から1 「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「物理」、「化学」 「英語」 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕
後期日程（74名） 機械工学ＥＰ 材料工学ＥＰ 海洋空間のｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝＥＰ	国　語 地理歴史 公　民 数　学 理　科 外国語 情　報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」、「公共，倫理」、「公共，政治・経済」　から1 「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「物理」、「化学」 「英語」 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注2）	2段階選抜
前期日程（91名） 機械工学ＥＰ 材料工学ＥＰ 海洋空間のｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝＥＰ	数　学 理　科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程（74名） 機械工学ＥＰ 材料工学ＥＰ 海洋空間のｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝＥＰ	数　学 理　科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学	実施しない

（注1）1．「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

（注2）個別テストの出題範囲
1．「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
2．「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
3．「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
4．「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	－	－	450	450	300	－	1200	－	－	450	450	－	－	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

（注）1．大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
2．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合の配点、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点　リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4
後期日程：300点満点（リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4）×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

【化学・生命系学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注2）
前期日程（86名） 化学ＥＰ 化学応用ＥＰ バイオＥＰ （注1）	国　語 地理歴史 公　民 数　学 理　科 外国語 情　報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」、「公共，倫理」、「公共，政治・経済」　から1 「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語」 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕
後期日程（66名） 化学ＥＰ 化学応用ＥＰ バイオＥＰ （注1）	国　語 地理歴史 公　民 数　学 理　科 外国語 情　報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」、「公共，倫理」、「公共，政治・経済」　から1 「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語」 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注3）	2段階選抜
前期日程（86名） 化学ＥＰ 化学応用ＥＰ バイオEP （注1）	数　学 理　科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程（66名） 化学ＥＰ 化学応用ＥＰ バイオＥＰ （注1）	数　学 理　科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学	実施しない

（注1） 学生募集は教育プログラムを分けずに行い、教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づいて行います。

（注2） 1．「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

（注3） 個別テストの出題範囲
1．「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
2．「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
3．「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
4．「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	－	－	450	450	300	－	1200	－	－	450	450	－	－	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

（注） 1．大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
2．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合の配点、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点　リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4
後期日程：300点満点（リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4）×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

【数物・電子情報系学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注1）
前期日程（185名） 数理科学ＥＰ 物理工学ＥＰ 電子情報ｼｽﾃﾑＥＰ 情報工学ＥＰ	国　語 地理歴史 公　民 数　学 理　科 外国語 情　報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」、 ┐ 「公共，倫理」、「公共，政治・経済」 ┘ から1 「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「物理」、「化学」 「英語」 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕
後期日程（107名） 数理科学ＥＰ 物理工学ＥＰ 電子情報ｼｽﾃﾑＥＰ 情報工学ＥＰ	国　語 地理歴史 公　民 数　学 理　科 外国語 情　報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」、 ┐ 「公共，倫理」、「公共，政治・経済」 ┘ から1 「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「物理」、「化学」 「英語」 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注2）	2段階選抜
前期日程（185名） 数理科学ＥＰ 物理工学ＥＰ 電子情報ｼｽﾃﾑＥＰ 情報工学ＥＰ	数　学 理　科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程（107名） 数理科学ＥＰ 物理工学ＥＰ 電子情報ｼｽﾃﾑＥＰ 情報工学ＥＰ	数　学 理　科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学	実施しない

（注1） 1．「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

（注2） 個別テストの出題範囲
1．「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
2．「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
3．「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
4．「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	－	－	450	450	300	－	1200	－	－	450	450	－	－	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

（注） 1．大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
2．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合の配点、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点　リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4
後期日程：300点満点（リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4）×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

（５）都市科学部

【都市社会共生学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注 1）
前期日程（30 名）	国　語 数　学 外国語 地理歴史 公　民 理　科 情　報	「国語」 「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1 (a)「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」から 1 (b)「公共，倫理」、「公共，政治・経済」から 1 (c)「地理総合／歴史総合／公共」から 2 (d)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から 2 (e)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 1 (f)「情報Ⅰ」 （注 2）(a)～(c)の中から 1 又は 2 （注 2）(d)～(e)の中から 1 又は 2 （注 2）(a)～(f)の中から 3 情報を利用する場合〔6 教科 7 科目〕又は〔7 教科 7 科目〕 情報を利用しない場合〔5 教科 7 科目〕又は〔6 教科 7 科目〕
後期日程（8 名）	国　語 数　学 外国語 地理歴史 公　民 理　科 情　報	「国語」 「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1 (a)「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」から 1 (b)「公共，倫理」、「公共，政治・経済」から 1 (c)「地理総合／歴史総合／公共」から 2 (d)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から 2 (e)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 1 (f)「情報Ⅰ」 （注 2）(a)～(c)の中から 1 又は 2 （注 2）(d)～(e)の中から 1 又は 2 （注 2）(a)～(f)の中から 3 情報を利用する場合〔6 教科 7 科目〕又は〔7 教科 7 科目〕 情報を利用しない場合〔5 教科 7 科目〕又は〔6 教科 7 科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等	２段階選抜
前期日程（30 名）	その他	小論文（注 3）	実施しない
後期日程（8 名）	その他	面接試験（注 4）	実施しない

（注 1）１．「地理歴史」・「公民」において 2 科目選択する場合の組み合わせは、６８ページ「共通テスト　地理歴史・公民２科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧」を参照してください。
２．「理科」で基礎を付した科目及び基礎を付していない科目の両方を受験する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）を選択することはできません。
３．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

（注 2）１．「地理総合／歴史総合／公共」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は 2 出題範囲で 1 科目とみなします。
２．合否判定には、まず「地理歴史」・「公民」の第 1 解答科目、「理科」の第 1 解答科目の得点を採用し、残り 1 科目は、「地理歴史」・「公民」の第 2 解答科目、「理科」の第 2 解答科目、「情報」のうち得点の高い科目の得点を採用します。

（注 3）「小論文」の内容は、以下のとおりです。
都市社会共生学科：これからの都市を様々に構想することを背景におきながら、共生社会と多様性のあり方、文化や芸術の可能性、グローバルとローカルの接合などに関連して提示された人文社会領域の素材について、内容把握の読解力、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力を評価します。

（注 4）自己推薦書及び他の提出書類を参考にし、面接に際して課題文を読ませるなどして、複数の面接員による個人面接試験を行い、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力などを総合的に評価します。

③配点

試験の区分	前期日程								後期日程							
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計
大学入学共通テスト	200 —	100 ＊100	200 —	100 ＊100	200 —	— ＊100	— —	900	200 —	100 ＊100	200 —	100 ＊100	200 —	— ＊100	— —	900
個別テスト等	—	—	—	—	—	—	500	500	—	—	—	—	—	—	200	200
合計	200	100 (200)	200	100 〈200〉	200	［100］	500	1400	200	100 (200)	200	100 〈200〉	200	［100］	200	1100

（注）１．配点に＊印を付してある得点は選択教科を表します。
２．大学入学共通テスト「地理歴史」・「公民」の第２解答科目が採用された場合には（ ）内の配点、「理科」の第２解答科目が採用された場合には〈 〉内の配点、「情報」が採用された場合には［ ］内の配点で計算します。
３．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合の配点は、リーディング 100 点、リスニング 100 点の計 200 点満点とします。
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算します。

【建築学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注 1）
前期日程（40 名）	国　語	「国語」
	地理歴史	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」 } から 1
	公　民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」
	理　科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 2
	数　学	「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1
	情　報	「情報Ⅰ」 〔6 教科 8 科目〕
後期日程（19 名）	国　語	「国語」
	地理歴史	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」 } から 1
	公　民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」
	理　科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 2
	数　学	「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1
	情　報	「情報Ⅰ」 〔6 教科 8 科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注 2）	2 段階選抜
前期日程（40 名）	数　学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	実施しない
	理　科	物理基礎・物理 化学基礎・化学	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	
後期日程（19 名）	数　学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	実施しない
	理　科	物理基礎・物理 化学基礎・化学	

（注１）１．「地理歴史」及び「公民」において 2 科目を受験した者については、第 1 解答科目の得点を合否判定に用います。
２．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

（注２）個別テストの出題範囲
１．「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
２．「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
３．「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
４．「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	—	—	450	450	300	—	1200	—	—	450	450	—	—	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

（注）１．大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。

後期日程　英語以外の外国語： 300 点満点　200 点×1.5

２．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200 点満点　リーディング 100 点×1.6＋リスニング 100 点×0.4
後期日程：300 点満点（リーディング 100 点×1.6＋リスニング 100 点× 0.4）×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を前期日程では 200 点満点、後期日程では 300 点満点に換算します。

【都市基盤学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注1）
前期日程（18名）	国　語	「国語」
	地理歴史	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」 } から1
	公　民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」
	理　科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2
	数　学	「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1
	情　報	「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕
後期日程（12名）	国　語	「国語」
	地理歴史	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」 } から1
	公　民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」
	理　科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2
	数　学	「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1
	情　報	「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注2）	2段階選抜
前期日程（18名）	数　学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	実施しない
	理　科	物理基礎・物理 化学基礎・化学	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	
後期日程（12名）	数　学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	実施しない
	理　科	物理基礎・物理 化学基礎・化学	

（注1）1．「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

（注2）個別テストの出題範囲
1．「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
2．「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
3．「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
4．「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	－	－	450	450	300	－	1200	－	－	450	450	－	－	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

（注）1．大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。

後期日程　英語以外の外国語：300点満点　200点×1.5

2．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点　リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4
後期日程：300点満点（リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4）×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

【環境リスク共生学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分（募集人員）	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等（注1）
前期日程（33 名）	国　語 地理歴史 公　民 理　科 数　学 外国語 情　報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」 ┐ 「公共，倫理」、「公共，政治・経済」 ┘ から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕
後期日程（10 名）	国　語 地理歴史 公　民 理　科 数　学 外国語 情　報	「国語」 「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」 ┐ 「公共，倫理」、「公共，政治・経済」 ┘ から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分（募集人員）	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等（注2）	2段階選抜
前期日程（33 名）	数　学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程（10 名）	数　学 その他	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 小論文（注3）	実施しない

（注1） 1．「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2．「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

（注2） 個別テストの出題範囲
1．「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
2．「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。

（注3） 「小論文」の内容は、以下のとおりです。
環境リスク共生学科：自然環境や生態環境、社会環境の様々なリスクに関連して提示された素材に関し、内容把握の読解力、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力を評価します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程							
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	650	200	100	1450	100	250	100	350	300	50	－	1150
個別テスト等	－	－	450	－	300	－	750	－	－	450	－	－	－	200	650
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	250	550	350	300	50	200	1800

（注） 1．大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。

後期日程　英語以外の外国語：　300 点満点　200 点 × 1.5

2．大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200 点満点　リーディング 100 点× 1.6＋リスニング 100 点× 0.4
後期日程：300 点満点（リーディング 100 点× 1.6＋リスニング 100 点× 0.4）× 1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を前期日程では 200 点満点、後期日程では 300 点満点に換算します。

6 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の配慮申請

心身の障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい、その他）により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の（1）および（2）の内容を確認したうえで、下記の様式例を参考にして配慮申請書を作成し、学務・国際戦略部入試課へ提出してください。

（1）受験上の配慮

全ての学部では出願時に自己推薦書を手書きで記入して提出する必要があります。受験上の配慮を必要とする者は、下記の要領で申請書を提出してください。

① 原則として令和９年(2027年)１月４日（月）までに配慮申請書を提出してください。申請書を提出しても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。
② 本学で申請内容を審査したうえで、下記の日程を目安に配慮事項の審査結果を郵送で通知します。

本学への配慮申請書の到着時期	本学からの審査結果の発送時期
令和８年(2026年)１１月２７日（金）まで	令和８年(2026年)１２月下旬
令和９年(2027年)　１月　４日（月）まで	令和９年(2027年)　１月下旬

③ 上記①の期限後でも申請を受け付けます。不慮の事故などにより配慮が必要となった場合は、速やかに申請書を提出してください。
④ 申請の内容や時期（特に上記③）によっては、希望通りに配慮ができない場合や、審査結果の発送が出願期間の最終日までに間に合わない場合がありますが、所定の提出物を含む出願書類は全て、出願期間内に提出してください。いかなる理由があっても、出願期間の延長は認めません。
⑤ 申請書の添付書類などに関して不明な点があれば、学務・国際戦略部入試課へ問い合わせてください。

（2）修学上の配慮

修学上の配慮については、随時申請を受け付けていますが、申請時期が遅くなると実際の支援開始も遅くなることが想定されますので、入学を志願する学部にかかわらず、配慮を必要とする者はなるべく下記の提出期限までに事前に配慮申請書を提出してください。

① 原則として令和９年(2027年)２月３日（水）までに事前に配慮申請書を提出してください。申請書を提出しても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。
② 本学で内容を審査したうえで、下記の日程を目安に配慮に関する案内を郵送で通知します。

本学への事前配慮申請書の到着時期	本学からの審査結果の発送時期
令和８年(2026年)１１月２７日（金）まで	令和８年(2026年)１２月下旬
令和９年(2027年)　１月　４日（月）まで	令和９年(2027年)　１月下旬
令和９年(2027年)　２月　３日（水）まで	令和９年(2027年)　２月下旬

③ 上記①の期限後でも申請を受け付けます。不慮の事故などにより配慮が必要となった場合は、速やかに申請書を提出してください。
④ 申請の内容や時期によっては、希望通りに配慮ができない場合があります。可能な限り早い時期に申請書を提出してください。また、申請書の添付書類などに関して不明な点があれば、学務・国際戦略部入試課へ問い合わせてください。
⑤ 修学上の配慮は入学時に支援検討を行う上での参考情報として事前申請を受け付けています。具体的な支援内容を決定するためには、障がい学生支援室への正式な申請が必要となります。入学決定後に下記ウェブサイトの案内に沿って障がい学生支援室に必ず正式な申請を行ってください。
https://www.ynu.ac.jp/campus/support_2/support.html

（配慮申請書様式例（A4判縦））

令和　年　月　日

横浜国立大学長　殿

フリガナ
氏　　名
生年月日
住　　所 〒
電話番号
E-mail

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり配慮を申請します。

記

１．志願する学部・学科・課程・コース・教育プログラム等
２．出願を予定している入試・日程（前期日程・後期日程）
３．障がい等の種類・程度
４．受験上の配慮を希望する事項・内容
５．修学上の配慮を希望する事項・内容
６．出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容　　※定期試験等についても記入
７．その他

（添付書類）医師の診断書（原本または写し）
大学入学共通テスト受験上の配慮事項審査結果通知書（写し）　※該当者のみ
その他参考資料

7　前期日程

横浜国立大学一般選抜の出願は、ウェブ出願登録と郵送出願の両方が必須です。
ウェブ出願システムへは次の URL（https://e-apply.jp/ds/ynu/）からアクセスできます。

Ⅰ　出願手続等（前期日程）

１．出願期間

（１）ウェブ出願登録期間

令和９年(2027 年)１月２２日（金）１０時～２月２日（火）１７時

※マイページ登録の開始は令和９年（2027 年）１月２２日（金）１０時からです。
※ウェブ出願登録の完了時にはメールの配信はありません。登録完了の確認は、ウェブ出願システムのマイページで行ってください。「出願申込済（支払済）」又は「出願申込済（支払不要）」と表示されていれば、ウェブ出願登録を完了できています。
※全ての書類が郵送で本学に到着した時点をもって出願手続が完了となります。ウェブ出願システムで出願申請を行っただけでは出願手続は完了しませんので、**必ず郵送による出願まで完了してください。**

（２）郵送出願期間

令和９年(2027 年)１月２５日（月）～２月３日（水）

※郵送出願期間を過ぎて令和９年(2027 年)２月４日（木）１０時までに到着した出願書類のうち、令和９年(2027 年)２月２日（火）までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。(ポスト投函不可)
※郵送出願の受理時にはメールの配信はありません。出願受理の確認は、ウェブ出願システムのマイページで行ってください。「出願申込確定」と表示されていれば、郵送出願を受理しています。

２．ウェブ出願登録

５４～５７ページのウェブ出願の流れを参照して登録を行ってください。ウェブ出願を行うにあたり、以下の２点を事前に用意してください。

（１）大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続

本学は「Web 方式」を採用します。事前に共通テスト出願サイトのマイページ上にある「出願内容の確認・訂正」から「申込番号」を確認してください。確認した「申込番号」等を本学のウェブ出願登録時に入力し、共通テストの成績請求情報の提供手続を行ってください。（「令和９年度大学入学共通テスト受験案内」５４ページ参照）

（２）顔写真データ

志願者本人の顔写真データ（ファイル形式は jpeg・png・bitmap・gif に対応、１０メガバイト以内、上半身・無帽・マスクなし）を事前に用意してください。アプリ等で加工・修正を施した顔写真は使用できません。

なお、**ウェブ出願登録を行っただけでは本学への出願は完了になりません。**３０ページの「４．郵送出願方法」以降の案内に従って、**必ず郵送による出願まで完了してください。**

※ウェブ出願登録時に入力ミスが生じた場合

（１）検定料を納付する前　：　登録を最初からやり直してください
（２）検定料を納付した後で、出願書類を郵送する前
①住所や電話番号の変更　：　本学学務・国際戦略部入試課（最終ページにアドレスを記載しています）へメールで氏名・志望学部・受付番号を明記の上、変更内容を連絡してください

②志望学部・学科等や選択教科の変更　：　出願書類を郵送せず、登録を最初からやり直してください。郵送しなかった出願の検定料は、申請に基づいて返還します。申請の方法は、３２ページの「**７．入学検定料の返還**」を確認してください。「(１)入学検定料の返還請求ができるもの①入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合」に該当します。

（３）検定料を納付した後で、出願書類を郵送した後

①住所や電話番号の変更　：　本学学務・国際戦略部入試課（最終ページにアドレスを記載しています）へメールで氏名・志望学部・受付番号を明記の上、変更内容を連絡してください

②志望学部・学科等や選択教科の変更　：　変更は受け付けられません

ウェブ出願登録後に印刷した志願票に、記載内容の修正や追記はしないでください。修正や追記をした内容は出願情報に反映されません。

３．入学検定料

（１）払込金額

１７，０００円

（２）払込期間

ウェブ出願登録完了後に払込が可能になります。払込可能な期間はウェブ出願登録完了日を含め４日間です。令和９年(2027 年)１月３０日（土）以降にウェブ出願登録を完了した場合には、２月２日（火）１７時が払込の締め切りになります。払込後にウェブ出願サイトからダウンロード可能になる様式があるため、余裕を持ってウェブ出願登録および払込を行ってください。

（３）払込方法

５６ページの「入学検定料の支払い」を参照してください。

（４）払込済の入学検定料

３２ページの「７.入学検定料の返還」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

※前期日程、後期日程とも横浜国立大学に出願する場合は、それぞれに１７，０００円ずつ払込む必要があります。

※入試個人成績の情報開示を申請する場合は、１回の出願につき開示請求手数料５００円が別途必要です。

※本学では、災害等で被災した受験者の進学の機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。

申請を行う場合には、ウェブ出願登録冒頭の入試区分選択時に、該当の項目を選択してください。手順に沿って「入学検定料免除特別措置申請書」をダウンロードして印刷し、郵送出願時に免除事由に関する証明書等と共に提出してください。

４．郵送出願方法

（１）「５．出願書類等」を取り揃え、「８．出願にあたっての注意事項」等をよく読んで、検定料払込後にウェブ出願サイトから様式「出願書類提出用宛名シート」をダウンロードして印刷し、市販の角形２号封筒に貼り付け、書留速達で郵送してください。(大学窓口に持参されても受付しません。)

（２）出願にあたっては、６５～６７ページの「受験を要する大学入学共通テストの教科・科目等自己確認表」で必ず確認してください。

（３）本学の前期日程と後期日程両方の選抜に併願する場合は、日程ごとに必要書類を取り揃え、それぞれ所定の日程の様式「出願書類提出用宛名シート」を使用して別々に郵送してください。

５．出願書類等

６９ページの「横浜国立大学一般選抜出願書類チェックリスト」で確認しながら用意してください。①～③は全員が提出し、④・⑤は該当者のみ提出してください。

<table>
<tr><th>提出書類等</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>① 入学志願票</td><td>(1) 検定料払込後にウェブ出願サイトからダウンロードして、Ａ４サイズでカラーで印刷してください。
(2) 印字された内容を確認してください。
※本学の一般選抜における大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続は、「Web方式」を採用します。「共通テスト成績請求チケット」の提出は必要ありません。</td></tr>
<tr><td>② 自己推薦書

<u>本要項の７３～７７ページの様式（ウェブ出願登録後にダウンロードすることも可能）を印刷して使用</u></td><td>(1) 志望学部・学科等のアドミッション・ポリシーを踏まえた大学入学後の目標と、その目標を達成するために努力したいことを、本要項７３～７７ページの様式をＡ４サイズ片面で印刷して、<u>３００字以上４００字以内で、教育学部志願者のみ７００字以上８００字以内で</u>記入してください。また、教育学部志願者は、児童・生徒とふれあう継続的な体験活動や教職に関連する学習活動等の経験がある場合には、自己推薦書（教育学部用）補足資料にその内容を記入し、それを示す資料をＡ４サイズにコピーし、資料番号を書き込んだ上で添付してください。
(2) 学びに対する姿勢と学習意欲を確認します。
(3) 志願者本人が手書きで記入してください。（自筆が困難である者のうち、受験上の配慮（２７ページ）を認められた者は除く。）
(4) 各学部・学科等のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）は、本要項２～６ページまたは横浜国立大学ウェブサイト（トップページ＞教育・学生生活＞学士課程教育の方針「YNU initiative」）を参照してください。
(5) 学部ごとの注意点は次の通りです。
<table>
<tr><th>志望学部</th><th>使用する様式</th><th>記入上の注意</th></tr>
<tr><td>教育学部</td><td>様式１</td><td>・<u>黒のボールペンで</u>記入してください。</td></tr>
<tr><td>経済学部</td><td>様式２</td><td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）</td></tr>
<tr><td>経営学部</td><td>様式２</td><td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）</td></tr>
<tr><td>理工学部</td><td>様式２</td><td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）
・第２志望の学科・ＥＰがある場合、第２志望を含めて記入してもかまいません。</td></tr>
<tr><td>都市科学部</td><td>様式２</td><td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）</td></tr>
</table>
(6) 本学の前期日程と後期日程とも<u>同一の学部・学科</u>に併願する場合は、自己推薦書を記入した後にコピーして、前期日程では「自己推薦書の原本（直接手書きしたもの）」を、後期日程では「自己推薦書のコピー（余白に「コピー」と記入）」を提出してください。
(7) 本学の前期日程と後期日程で<u>異なる学部・学科</u>に併願する場合は、本要項７３～７７ページの様式（ウェブ出願登録後にダウンロードすることも</td></tr>
</table>

	可能）を印刷して、前期日程と後期日程それぞれで、「自己推薦書の原本（直接手書きしたもの）」を提出してください。
③調査書等	(1) 高等学校又は中等教育学校の卒業者(卒業見込者)は、**卒業後（卒業見込者は令和８年(2026 年)１０月以降**）に出身学校長が作成し、厳封した**調査書**を提出してください。調査書はＡ３サイズ、Ａ４サイズのいずれでも可とし、枚数は問いません。 「学習成績概評」欄にⒶと記載されている場合には、Ａとして取り扱います。 （注）廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、「卒業証明書」及び「成績証明書又は単位修得証明書」を提出してください。なお、指導要録の保存期間の経過により「単位修得証明書」が発行できない場合は、「学校長等が作成した発行できない旨の文書」を提出してください。 ※指導要録の保存期間については、成績証明書（概ね５年)、単位修得証明書（概ね２０年）となっています。詳細は出身学校に確認してください。 (2) 高等専門学校第３学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者（修了見込者）は、前記(1)の**調査書に準じて作成したもの**を提出してください。 (3) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者は、**合格成績証明書**を提出してください。なお、**試験免除科目**がある場合は、**免除要件に係る証明書類**（高等学校等の調査書又は成績証明書、各種技能検定の合格証明書等）を併せて提出してください。 (4) (1)～(3)以外の者は、**修了(見込)証明書〔資格(取得見込)証明書〕及び成績証明書**を提出してください。
④入学資格認定証明書	4 出願資格（4）（９ページ参照）により出願する者は、本学学長が証明した「入学資格認定証明書」を提出してください。
⑤入学検定料免除特別措置申請書	ウェブ出願登録後に、ウェブ出願サイトからダウンロードしてＡ４サイズで印刷してください。 免除事由に関する証明書等を添付してください。

６．受験票

（１）「受験票」は、ウェブ出願登録時の情報を基に生成されます。

（２）「受験票」について、令和９年(2027 年)２月１２日（金）にウェブ出願登録時に登録したアドレス宛にメールで受験票発行開始の通知をします。ウェブ出願サイトのマイページからダウンロードしてＡ４サイズでカラーで印刷してください。ダウンロードや印刷ができない場合は、本学学務・国際戦略部入試課まで連絡してください。

（３）ダウンロードして印刷した「受験票」の記載事項を確認し、氏名･写真の誤りがあった場合は、本学学務・国際戦略部入試課まで連絡してください。
ただし、志望学部・学科・コース・教育プログラム等及び選択教科の変更は認めません。
なお、手書きによる修正は無効です。

７．入学検定料の返還

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

（１）入学検定料の返還請求ができるもの

①入学検定料を払い込んだが本学に郵送出願をしなかった場合

②入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
③出願書類の不備等により出願が受理されなかった場合
④出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による無資格者であることが判明した場合

(２)返還する入学検定料の金額
志願者の申し出により、上記①、②、③は１７，０００円を、④は１３，０００円を返還します。

※入試個人成績の情報開示を申請していた場合、払込済の開示請求手数料５００円は、入学検定料と併せて返還します。

※日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料は志願者負担となります。

(３)返還請求の方法
上記(1)の①、②に該当する場合は、下記の返還請求 Form に必要事項を登録してください。出願していないことを確認した上で、「検定料返還請求書」をお送りします。
返還請求 Form　https://forms.cloud.microsoft/r/TEY7X1NPK7

また、③の場合は出願書類返却時に、④の場合は該当事項の通知時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上必ず「通帳」又は「キャッシュカード」の口座番号と口座名義が確認できるページの写しを添付して郵送してください。

８．出願にあたっての注意事項（前期日程）

（１）学部・学科等の出願方法

①教育学部

教育学部学校教員養成課程は「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース」の３コースで構成されます。また、各コースの専門領域・募集人員・試験科目は、次のとおりです。なお、各コース・専門領域の募集人員は予定数であり、志願状況等により合格者数に増減があります。

コース	専門領域	募集人員	試験科目
言語・文化・社会系教育コース	国語	３２	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	社会		
	英語		
	日本語教育		
	教育学		
自然・生活系教育コース	数学	２９	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	理科		
	技術		
	家庭科		
芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽	7	面接試験 実技検査（音楽の実技）
	美術	5	面接試験 実技検査（美術の実技）

	保健体育	7	面接試験 実技検査（体育の実技）
	心理学	8	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	特別支援教育	１２	面接試験 小論文（教育課題論文）試験

（ア）「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース」のいずれか１つのコースを選択してください。なお、「芸術・身体・発達支援系教育コース」については、音楽、美術、保健体育、心理学、特別支援教育のいずれか１つの専門領域を選択してください。入学後は合格した入試で選択したコース・専門領域に所属することとし、コース・専門領域の変更は認めません。

（イ）「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）」（募集人員計８１名）は、面接試験と小論文（教育課題論文）試験を受験してください。「芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）」（募集人員計１９名）は、面接試験と選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」・「美術の実技」・「体育の実技」を受験してください。また、入学者の選抜は選択したコース・専門領域ごとに行います。

（ウ）「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」に入学した者については、第１学年の１０月頃までに、コース内で専門領域を決定します。この決定は、本人の希望及び入学後の学修状況を基に行います。ただし、特定の専門領域を多数の者が希望した時には、選考試験を行います。

（エ）教育学部を志望される際は、７０～７１ページ「「こども性暴力防止法」令和８（2026）年１２月２５日施行にあたり、出願前にご確認いただきたい重要事項について」の内容を十分にご理解いただいた上で、出願をご検討ください。

（オ）学校教員養成課程における修学上の留意事項については、本学のウェブサイトを確認してください。
https://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/

②経済学部

（ア）志望できるプログラム（一般、DSEP（ディーセップ）またはLBEEP（エルビープ））は１つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、DSEP（ディーセップ）志望の受験者は個別テストの数学科目上位成績者からLBEEP（エルビープ）志望の受験者は大学入学共通テスト及び個別テストの偏差値の合計の高い者から合格者を選抜します。そのためDSEP（ディーセップ）またはLBEEP（エルビープ）を志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となることがあります。

（イ）入学後に、他のプログラムに変更をすることはできません。

③経営学部

（ア）志望できるプログラム（一般またはDSEP（ディーセップ））は１つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、DSEP（ディーセップ）志望の受験者については個別テストの数学科目上位成績者から、合格者を選抜します。そのためDSEP（ディーセップ）を志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となることがあります。

（イ）入学後に、他のプログラムに変更をすることはできません。
（ウ）選択教科（「数学」又は「外国語」）は、出願時に選択してください。ただし、DSEP（ディーセップ）を志望する者は、数学を選択してください。

④理工学部
（ア）出願できる学科は１つに限ります。
（イ）機械・材料・海洋系学科及び数物・電子情報系学科では、同じ学科内に限り、他の教育プログラムを第２志望とすることができます。
ただし、化学・生命系学科の学生募集は教育プログラムを分けずに行い、教育プログラムの決定は、第２学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づいて行います。
各教育プログラムは、それぞれ教育内容に特徴があるので、第２志望の教育プログラムを選択する際は十分考慮してください。
（ウ）入学後に、同じ学科内の他の教育プログラムに変更を申請することができます（転ＥＰ制度）。変更を申請できる機会はあらかじめ定められた時期の１度のみで、入学後の成績を考慮して決定します。なお、変更できる人数には制限があります。また、化学・生命系学科においては転ＥＰ制度はありません。

⑤都市科学部
出願できる学科は１つに限ります。

（２）出願及び受験にあたっての注意事項
①学部・学科・コース・教育プログラム等及び選択教科・科目の変更は認めません。
②同一日程において、複数の学部・学科・コース・教育プログラム等に出願した場合、どちらか一方、もしくはその両方の出願を無効とする場合があります。
③出願する際には「入学志願票」の記載事項を再度確認し、誤りがないか確認の上、郵送してください。
④出願書類記載事項に入力漏れやその他の不備がある場合、出願書類は受理しません。
⑤出願書類は返却しません。
⑥以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、退場の措置をとり、以後の受験を認めません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。
（ア）カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
（イ）試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
（ウ）試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
（エ）試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）・タブレット端末・電子辞書・IC レコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類や定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）・コンパス・電卓・そろばん・グラフ用紙等の補助具、教科書・参考書・辞書等の書籍類等を使用すること。
※通信機能のある電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）・タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。
⑥以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記⑤と同じです。

（ア）試験時間中に、電子辞書・IC レコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類や定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）・コンパス・電卓・そろばん・グラフ用紙等の補助具、教科書・参考書・辞書等の書籍類等をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）・タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。

（イ）試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。

（ウ）試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。

（エ）その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

⑦試験の実施に影響を与えるおそれがある場合や不正行為が疑われる場合に、監督者等が所持品を確認することがあります。

⑧試験当日は、身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。））の持参を必須とします。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがあります。

⑨出願書類に虚偽の記載・顔写真の加工があった場合や、試験中の不正行為が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出する場合があります。

⑩出願書類の記載内容を精査するため、追加書類の提出を求めることがあります。

⑪氏名を登録する際は、常用漢字を使用してください。合格通知書および入学許可書には、本学のウェブ出願登録時に登録した氏名ではなく、大学入学共通テストの出願時に登録した氏名を記載します。

（3）その他

出願書類の受付状況は、志願者自身によりウェブ出願システムのマイページ上で確認してください。出願ステータスが「出願申込確定」と表示されていれば、受付されています。

ウェブ出願システムＵＲＬ：　https://e-apply.jp/ds/ynu/

Ⅱ　入学者選抜方法等(前期日程)

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、調査書、自己推薦書及び学部、学科等によっては、個別テスト、小論文、面接、実技検査の結果を総合して行います。

各学部の試験教科・科目は、１１～２６ページの「5 試験教科・科目」を参照してください。

１．試験科目設定の意図

（１）教育学部

教員となるための資質として、広い視野・教育に対する関心・問題解決への強い意志を必要とします。このため、高等学校では読解力や英語力を身につけ、文理双方の幅広い基礎教科を学んでください。

一般選抜では、教員志望の熱意、コミュニケーション能力等の適性を確認し、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するために、受験者全員に集団面接試験を課します。

「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）」を受験する者には読解力・文章作成力・論理的思考力などの教員になる上での基礎的な資質を評価するために小論文（教育課題論文）試験を課します。また、音楽、美術、保健体育専門領域を受験する者には音楽、美術、体育の実技検査を課し、学校教員として必要となる実技能力を備えているか評価します。

（２）経済学部

高等学校では基本科目を幅広く学んでください。一般選抜では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学および英語の両方に優れた人を求めます。

（３）経営学部

高等学校では、基本科目を幅広く学ぶとともに、とりわけ数学と英語の学力向上に努めてください。一般選抜では論理的思考力と国際コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学または英語のいずれかに秀でた人を求めます。

（４）理工学部

高等学校で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語、情報の幅広い基礎的な能力を前提とし、理工学の専門分野の特性を考慮し、数学と理科および英語の知識、技能および思考力を特に重視します。

機械・材料・海洋系学科

機械・材料・海洋系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力をしっかり身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の前期日程では、理工学を学ぶうえで重要な基礎となる数学、物理、化学、英語を課します。

化学・生命系学科

高等学校では、化学はもちろんのこと、数学や物理、生物などの基本科目を学び、知識を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜では、化学をはじめ、数学や物理に秀でた人を求めます。前期日程では、数学、物理・化学に加え英語を課します。

数物・電子情報系学科

数物・電子情報系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の前期日程では、数学、物理・化学、英語を課します。

（５）都市科学部

都市社会共生学科

高等学校では、文理双方の基礎科目を幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、国語、英語及び地理歴史・公民の学力を土台とする小論文を課すことで、読解力・表現力と論理的思考を問います。

建築学科

高等学校では、建築学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、数学、理科、英語を課します。

都市基盤学科

高等学校では、都市基盤学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、数学、理科、英語を課します。

環境リスク共生学科

高等学校では、英語、数学、国語、地理歴史・公民、理科の基礎科目をしっかりと学んでください。

一般選抜の前期日程では数学と英語を課します。数理的な能力とグローバルな専門家として活躍するための英語力を問い、環境リスクを扱うために必要なバランスの良い学力を持つ人を求めます。

２．２段階選抜（前期日程）

本学では２段階選抜を実施しません。

３．個別テスト等日程（前期日程）

各学部等で指定した「受験を要する教科・科目等」をすべて受験してください。
１科目でも受験していない者は、合格者とはなりません。
試験日には、「本学の受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両受験票を必ず持参してください。

学部・学科等			試験区分	試験日	出題教科	時間
教育学部	学校教員養成課程	言語・文化・社会系教育コース 自然・生活系教育コース 芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）	面接	２月２５日(木) 集合時間　8:30 または 10:30	面接試験(集団)	9:00～10:30 または14:15～
			小論文		小論文 (教育課題論文)	11:00～13:00
		芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）	実技検査	２月２５日(木) 集合時間 8:30	音楽の実技	9:30～13:00
			面接		面接試験(集団)	14:15～
			面接	２月２５日(木) 集合時間 8:30	面接試験(集団)	9:00～10:30
			実技検査		美術の実技	11:00～17:00
			面接	２月２５日(木) 集合時間 8:30	面接試験(集団)	9:00～10:30
			実技検査		体育の実技	11:15～
経済学部	経済学科		個別テスト	２月２５日(木) 集合時間 9:30	数　学	10:00～11:30
					外国語	13:00～14:30
経営学部	経営学科		個別テスト	２月２５日(木) 集合時間 数　学　9:30 外国語 12:30	数　学	10:00～11:30
					外国語	13:00～14:30
理工学部	機械・材料・海洋系学科 化学・生命系学科 数物・電子情報系学科		個別テスト	２月２５日(木) 集合時間 8:30	数　学	9:00～11:30
					外国語	13:00～14:30
					理　科	15:20～17:50
都市科学部	都市社会共生学科		小論文	２月２５日(木) 集合時間 9:00	小論文	9:30～11:30
	建築学科 都市基盤学科		個別テスト	２月２５日(木) 集合時間 8:30	数　学	9:00～11:30
					外国語	13:00～14:30
					理　科	15:20～17:50
	環境リスク共生学科		個別テスト	２月２５日(木) 集合時間 8:30	数　学	9:00～11:30
					外国語	13:00～14:30

（注）教育学部では、指定された全ての「受験を要する教科・科目等」の受験が終了するまで、試験室又は控室等から退出できません。受験者多数の場合、面接時間までの待機時間が長くな

る場合があります。なお、教育学部「小論文」の受験者は、「小論文」の前あるいは後に面接を行います。

（注）経営学部では、出願時に選択した数学又は外国語のいずれかを受験してください。

※ 集合時間については予定時間です。受験票と一緒にダウンロードする「令和９年度教科・科目に係る個別テスト等受験上の注意」で再度確認してください。
なお、試験場への入場開始時刻は８時を予定しています。

４．合格者発表（前期日程）

（１）合格者発表

下記日時に、合否照会システム（受験番号と暗証番号（生年月日半角数字６桁）で認証します：https://www.gouhi.com/ynu/）での発表と、合格者のみへ「合格通知書」及び「入学手続の案内資料」等を速達郵便で発送します。

前期日程合格者発表日時	**令和９年(2027年)３月６日（土）１２時頃**

（注１）合格者発表の合否照会システムでの確認期間は、入学手続期間最終日までとします。
（注２）本学構内における合格者受験番号の掲示発表は行いません。
（注３）合格者発表直後は、回線が混み合い接続に時間がかかる場合があります。その場合は、少し時間をあけて接続しなおしてください。
（注４）電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

（２）欠員の補充等（追加合格等）

入学手続締切期日後に入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格により欠員補充を行います。また、必要がある場合には欠員補充第２次募集を行います。

①追加合格等の実施の有無

令和９年(2027年)３月２８日（日）までに本学ウェブサイトにて情報を掲載します。
（本学ウェブサイトアドレス　https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/release/index.html）

②追加合格者への連絡

追加合格を実施する場合は、令和９年(2027年)３月２８日（日）から３月３１日（水）まで、追加合格該当者に対し合格を通知します。入学の意思について、志願者本人（保護者等の代理は認められません。）に確認をしますので、志願者本人に連絡が取れるようにしておいてください。

本学からの連絡は、ウェブ出願登録時に登録した「志願者住所・連絡先(合格通知等送付先)」の連絡先へ、電話等により直接志願者本人に連絡します。本学からの連絡が確実に受けられるようにしておいてください。

本学から連絡の際、再度にわたる電話連絡にも関わらず、不在等のため志願者本人の意思確認ができなかった場合や、すみやかに意思表明されなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

合格者には、合格通知書及び入学手続の案内資料を郵送します。

※追加合格等を実施した場合、当初の合格者発表において入学手続を完了した者については、学科・コース・教育プログラム等の変更は行いません。

５．入学手続（前期日程）

合格通知を受けた者は、**郵送(書留速達)**により下記の入学手続期間に入学手続を行ってください。入学手続の詳細は、合格通知書とともに郵送する入学手続の案内資料で確認してください。

本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学･学部に入学手続を行うことはできません。

また、前期日程の入学手続を行った者は、後期日程試験を受験してもその合格者とはなりません。

（１）入学手続期間

入学手続は下記の期間内とし、期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取扱い、これ以降の入学手続を認めません。

令和９年(2027年)３月７日（日）から令和９年(2027年)３月１５日（月）まで必着

（２）入学手続に必要な書類

①国公立大学入学確認票

②卒業（修了）証明書　【高等学校等を卒業（修了）見込みで受験した者のみ】

③その他の書類等　　合格通知書に同封する「入学手続の案内資料」で指示します。

（３）入学料（入学手続時に必要）

入学料　　２８２,０００円（現行）

※入学料は、改定される場合があります。

（注）金融機関において１０万円を超える現金の振込みを行う場合には、**本人確認書類の提示**が必要となります。

（４）入学後に必要な学生納付金

授業料

半期分　２６７,９００円（現行）

年　額　５３５,８００円（現行）

(注1) 授業料は、改定される場合があります。

(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

(注3) 授業料については、入学後に口座振替により納付することになります。

（５）入学手続きに関する留意事項

①入学手続完了者が事情により入学辞退した場合、いかなる理由があっても入学料は返還できません。

②入学料および授業料の納付が困難な者に対して、一定の条件の下に選考の上、納付を免除・徴収猶予する制度があります。申請要領等については、６０ページを参照してください。

③入学料・授業料以外の諸経費として、学生教育研究災害傷害保険料、TOEFL-ITP受験料（必修英語科目の習熟度別クラス編成および単位認定に利用）、校友会費・同窓会費の納付について、入学手続時にお知らせします。

8　後期日程

横浜国立大学一般選抜の出願は、ウェブ出願登録と郵送出願の両方が必須です。
ウェブ出願システムへは次の URL（https://e-apply.jp/ds/ynu/）からアクセスできます。

Ⅰ　出願手続等（後期日程）

１．出願期間

（１）ウェブ出願登録期間

令和９年(2027 年）１月２２日（金）１０時～２月２日（火）１７時

※マイページ登録の開始は令和９年（2027 年）１月２２日（金）１０時からです。

※ウェブ出願登録の完了時にはメールの配信はありません。登録完了の確認は、ウェブ出願システムのマイページで行ってください。「出願申込済（支払済）」又は「出願申込済（支払不要）」と表示されていれば、ウェブ出願登録を完了できています。

※全ての書類が郵送で本学に到着した時点をもって出願手続が完了となります。ウェブ出願システムで出願申請を行っただけでは出願手続は完了しませんので、<u>必ず郵送による出願まで完了してください。</u>

（２）郵送出願期間

令和９年(2027 年)１月２５日（月）～２月３日（水）

※郵送出願期間を過ぎて令和９年(2027 年)２月４日（木）１０時までに到着した出願書類のうち、令和９年(2027 年)２月２日（火）までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。(ポスト投函不可)

※郵送出願の受理時にはメールの配信はありません。出願受理の確認は、ウェブ出願システムのマイページで行ってください。「出願申込確定」と表示されていれば、郵送出願を受理しています。

２．ウェブ出願登録

５４～５７ページのウェブ出願の流れを参照して登録を行ってください。ウェブ出願を行うにあたり、以下の２点を事前に用意してください。

（１）大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続

本学は「Web 方式」を採用します。事前に共通テスト出願サイトのマイページ上にある「出願内容の確認・訂正」から「申込番号」を確認してください。確認した「申込番号」等を本学のウェブ出願登録時に入力し、共通テストの成績請求情報の提供手続を行ってください。（「令和９年度大学入学共通テスト受験案内」５４ページ参照）

（２）顔写真データ

志願者本人の顔写真データ（ファイル形式は jpeg・png・bitmap・gif に対応、１０メガバイト以内、上半身・無帽・マスクなし）を事前に用意してください。アプリ等で加工・修正を施した顔写真は使用できません。

なお、<u>ウェブ出願登録を行っただけでは本学への出願は完了になりません。</u>４３ページの「４．郵送出願方法」以降の案内に従って、<u>必ず郵送による出願まで完了してください。</u>

※ウェブ出願登録時に入力ミスが生じた場合

（１）検定料を納付する前　：　登録を最初からやり直してください

（２）検定料を納付した後で、出願書類を郵送する前

①住所や電話番号の変更　：　本学学務・国際戦略部入試課（最終ページにアドレスを記載しています）へメールで氏名・志望学部・受付番号を明記の上、変更内容を連絡してください

②志望学部・学科等や選択教科の変更　：　出願書類を郵送せず、登録を最初からやり直してください。郵送しなかった出願の検定料は、申請に基づいて返還します。申請の方法は、４５ページの「**７．入学検定料の返還**」を確認してください。「(１)入学検定料の返還請求ができるもの①入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合」に該当します。

（３）検定料を納付した後で、出願書類を郵送した後

①住所や電話番号の変更　：　本学学務・国際戦略部入試課（最終ページにアドレスを記載しています）へメールで氏名・志望学部・受付番号を明記の上、変更内容を連絡してください

②志望学部・学科等や選択教科の変更　：　変更は受け付けられません

ウェブ出願登録後に印刷した志願票に、記載内容の修正や追記はしないでください。修正や追記をした内容は出願情報に反映されません。

３．入学検定料

（１）払込金額

１７，０００円

（２）払込期間

ウェブ出願登録完了後に払込が可能になります。払込可能な期間はウェブ出願登録完了日を含め４日間です。令和９年(2027 年)１月３０日（土）以降にウェブ出願登録を完了した場合には、２月２日（火）１７時が払込の締め切りになります。払込後にウェブ出願サイトからダウンロード可能になる様式があるため、余裕を持ってウェブ出願登録および払込を行ってください。

（３）払込方法

５６ページの「入学検定料の支払い」を参照してください。

（４）払込済の入学検定料

４５ページの「７.入学検定料の返還」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

※前期日程、後期日程とも横浜国立大学に出願する場合は、それぞれに１７，０００円ずつ払込む必要があります。

※入試個人成績の情報開示を申請する場合は、１回の出願につき開示請求手数料５００円が別途必要です。

※本学では、災害等で被災した受験者の進学の機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。

申請を行う場合には、ウェブ出願登録冒頭の入試区分選択時に、該当の項目を選択してください。手順に沿って「入学検定料免除特別措置申請書」をダウンロードして印刷し、郵送出願時に免除事由に関する証明書等と共に提出してください。

４．郵送出願方法

（１）「５．出願書類等」を取り揃え、「８．出願にあたっての注意事項」等をよく読んで、検定料払込後にウェブ出願サイトから様式「出願書類提出用宛名シート」をダウンロードして印刷し、市販の角形２号封筒に貼り付け、書留速達で郵送してください。(大学窓口に持参されても受付しません。)

（２）出願にあたっては、６５～６７ページの「受験を要する大学入学共通テストの教科・科目等自己確認表」で必ず確認してください。

（３）本学の前期日程と後期日程両方の選抜に併願する場合は、日程ごとに必要書類を取り揃え、それぞれ所定の日程の様式「出願書類提出用宛名シート」を使用して別々に郵送してください。

５．出願書類等

６９ページの「横浜国立大学一般選抜出願書類チェックリスト」で確認しながら用意してください。①～③は全員が提出し、④・⑤は該当者のみ提出してください。

<table>
<tr><th>提出書類等</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>① 入学志願票</td><td>(1) 検定料払込後にウェブ出願サイトからダウンロードして、Ａ４サイズでカラーで印刷してください。
(2) 印字された内容を確認してください。
※本学の一般選抜における大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続は、「Web方式」を採用します。「共通テスト成績請求チケット」の提出は必要ありません。</td></tr>
<tr><td>② 自己推薦書

本要項の７７ページの様式（ウェブ出願登録後にダウンロードすることも可能）を印刷して使用</td><td>(1) 志望学部・学科等のアドミッション・ポリシーを踏まえた大学入学後の目標と、その目標を達成するために努力したいことを、本要項７７ページの様式をＡ４サイズで印刷して、３００字以上４００字以内で記入してください。
(2) 学びに対する姿勢と学習意欲を確認します。
(3) 志願者本人が手書きで記入してください。（自筆が困難である者のうち、受験上の配慮（２７ページ）を認められた者は除く。）
(4) 各学部・学科等のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）は、本要項２～６ページまたは横浜国立大学ウェブサイト（トップページ＞教育・学生生活＞学士課程教育の方針「YNU initiative」）を参照してください。
(5) 学部ごとの注意点は次の通りです。
<table>
<tr><th>志望学部</th><th>使用する様式</th><th>記入上の注意</th></tr>
<tr><td>経済学部</td><td>様式２</td><td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）</td></tr>
<tr><td>経営学部</td><td>様式２</td><td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）</td></tr>
<tr><td>理工学部</td><td>様式２</td><td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）
・第２志望の学科・ＥＰがある場合、第２志望を含めて記入してもかまいません。</td></tr>
<tr><td>都市科学部</td><td>様式２</td><td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）</td></tr>
</table>
(6) 本学の前期日程と後期日程とも同一の学部・学科に併願する場合は、自己推薦書を記入した後にコピーして、前期日程では「自己推薦書の原本（直接手書きしたもの）」を、後期日程では「自己推薦書のコピー（余白に「コピー」と記入）」を提出してください。
(7) 本学の前期日程と後期日程で異なる学部・学科に併願する場合は、本要項７３～７７ページの様式（ウェブ出願登録後にダウンロードすることも可能）を印刷して、前期日程と後期日程それぞれで、「自己推薦書の原本（直接手書きしたもの）」を提出してください。</td></tr>
<tr><td>③調査書等</td><td>(1) 高等学校又は中等教育学校の卒業者（卒業見込者）は、卒業後（卒業見込者は令和８年(2026 年)１０月以降）に出身学校長が作成し、厳封した調査書を提出してください。調査書はＡ３サイズ、Ａ４サイズのいずれでも可とし、枚数は問いません。</td></tr>
</table>

	「学習成績概評」欄に Ⓐ と記載されている場合には、Ａとして取り扱います。 （注）廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、「卒業証明書」及び「成績証明書又は単位修得証明書」を提出してください。なお、指導要録の保存期間の経過により「単位修得証明書」が発行できない場合は、「学校長等が作成した発行できない旨の文書」を提出してください。 ※指導要録の保存期間については、成績証明書（概ね５年）、単位修得証明書（概ね２０年）となっています。詳細は出身学校に確認してください。 (2) 高等専門学校第３学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者（修了見込者）は、前記(1)の**調査書に準じて作成したもの**を提出してください。 (3) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者は、**合格成績証明書**を提出してください。なお、**試験免除科目**がある場合は、**免除要件に係る証明書類**（高等学校等の調査書又は成績証明書、各種技能検定の合格証明書等）を併せて提出してください。 (4) (1)～(3)以外の者は、**修了(見込)証明書〔資格(取得見込)証明書〕及び成績証明書**を提出してください。
④入学資格認定証明書	4 出願資格（4）（９ページ参照）により出願する者は、本学学長が証明した「入学資格認定証明書」を提出してください。
⑤入学検定料免除特別措置申請書	ウェブ出願登録後に、ウェブ出願サイトからダウンロードしてＡ４サイズで印刷してください。 免除事由に関する証明書等を添付してください。

６．受験票

（１）「受験票」は、ウェブ出願登録時の情報を元に生成されます。

（２）「受験票」について、令和９年(2027 年)２月１２日（金）にウェブ出願登録時に登録したアドレス宛にメールで受験票発行開始の通知をします。ウェブ出願サイトのマイページからダウンロードしてＡ４サイズでカラーで印刷してください。ダウンロードや印刷ができない場合は、本学学務・国際戦略部入試課まで連絡してください。

（３）ダウンロードして印刷した「受験票」の記載事項を確認し、氏名･写真の誤りがあった場合は、本学学務・国際戦略部入試課まで連絡してください。
ただし、志望学部・学科・コース・教育プログラム等及び選択教科の変更は認めません。
なお、手書きによる修正は無効です。

７．入学検定料の返還

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

（１）入学検定料の返還請求ができるもの
①入学検定料を払い込んだが本学に郵送出願をしなかった場合
②入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
③出願書類の不備等により出願が受理されなかった場合
④出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による無資格者であることが判明した場合

（２）返還する入学検定料の金額

志願者の申し出により、上記①、②、③は１７，０００円を、④は１３，０００円を返還します。

※入試個人成績の情報開示を申請していた場合、払込済の開示請求手数料５００円は、入学検定料と合わせて返還します。

※日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料は志願者負担となります。

（３）返還請求の方法

上記(1)の①、②に該当する場合は、下記の返還請求 Form に必要事項を登録してください。出願していないことを確認した上で、「検定料返還請求書」をお送りします。

返還請求 Form：　https://forms.cloud.microsoft/r/TEY7X1NPK7

また、③の場合は出願書類返却時に、④の場合は該当事項の通知時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上必ず「通帳」又は「キャッシュカード」の口座番号と口座名義が確認できるページの写しを添付して郵送してください。

８．出願にあたっての注意事項（後期日程）

（１）学部・学科等の出願方法

①経済学部

（ア）志望できるプログラム（一般、DSEP（ディーセップ）または LBEEP（エルビープ））は１つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、DSEP（ディーセップ）志望の受験者は個別テストの数学科目上位成績者から、LBEEP（エルビープ）志望の受験者は大学入学共通テスト及び個別テストの偏差値の合計の高い者から合格者を選抜します。そのため DSEP（ディーセップ）または LBEEP（エルビープ）を志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となることがあります。

（イ）入学後に、他のプログラムに変更をすることはできません。

（ウ）選択教科（「数学」又は「外国語」）は、出願時に選択してください。ただし、DSEP（ディーセップ）を志望する者は、「数学」を選択して受験してください。

②経営学部

（ア）志望できるプログラム（一般または DSEP（ディーセップ））は１つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、DSEP（ディーセップ）志望の受験者については個別テストの数学科目上位成績者から、合格者を選抜します。そのため DSEP（ディーセップ）を志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となることがあります。

（イ）入学後に、他のプログラムに変更をすることはできません。

③理工学部

（ア）出願できる学科は１つに限ります。

（イ）機械・材料・海洋系学科及び数物・電子情報系学科では、同じ学科内に限り、他の教育プログラムを第２志望とすることができます。

ただし、化学・生命系学科の学生募集は教育プログラムを分けずに行い、教育プログラムの決定は、第２学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づいて行います。

各教育プログラムは、それぞれ教育内容に特徴があるので、第２志望の教育プログラムを選択する際は十分考慮してください。

（ウ）入学後に、同じ学科内の他の教育プログラムに変更を申請することができます（転ＥＰ制度）。変更を申請できる機会はあらかじめ定められた時期の１度のみで、入学後の成績を考慮して決定します。なお、変更できる人数には制限があります。また、化学・生命系学科においては転ＥＰ制度はありません。

④都市科学部
出願できる学科は１つに限ります。

（２）出願にあたっての注意事項
①学部・学科・コース・教育プログラム等及び選択教科・科目の変更は認めません。
②同一日程において、複数の学部・学科・コース・教育プログラム等に出願した場合、どちらか一方、もしくはその両方の出願を無効とする場合があります。
③出願する際には「入学志願票」の記載事項を再度確認し、誤りがないか確認の上、郵送してください。
④出願書類記載事項に入力漏れやその他の不備がある場合、出願書類は受理しません。
⑤出願書類は返却しません。
⑥以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、退場の措置をとり、以後の受験を認めません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。
（ア）カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
（イ）試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
（ウ）試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
（エ）試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）・タブレット端末・電子辞書・IC レコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類や定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）・コンパス・電卓・そろばん・グラフ用紙等の補助具、教科書・参考書・辞書等の書籍類等を使用すること。
※通信機能のある電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）・タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。
⑥以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記⑤と同じです。
（ア）試験時間中に、電子辞書・IC レコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類や定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）・コンパス・電卓・そろばん・グラフ用紙等の補助具、教科書・参考書・辞書等の書籍類等をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
※通信機能のある電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）・タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。

（イ）試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
（ウ）試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。
（エ）その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

⑦試験の実施に影響を与えるおそれがある場合や不正行為が疑われる場合に、監督者等が所持品を確認することがあります。
⑧試験当日は、身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。））の持参を必須とします。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがあります。
⑨出願書類に虚偽の記載・顔写真の加工があった場合や、試験中の不正行為が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出する場合があります。
⑩出願書類の記載内容を精査するため、追加書類の提出を求めることがあります。
⑪氏名を登録する際は、常用漢字を使用してください。合格通知書および入学許可書には、本学のウェブ出願登録時に登録した氏名ではなく、大学入学共通テストの出願時に登録した氏名を記載します。

（3）その他

出願書類の受付状況は、志願者自身によりウェブ出願システムのマイページ上で確認してください。出願ステータスが「出願申込確定」と表示されていれば、受付されています。

ウェブ出願システムＵＲＬ：　https://e-apply.jp/ds/ynu/

Ⅱ　入学者選抜方法等(後期日程)

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、調査書、自己推薦書及び学部、学科等によっては、個別テスト、小論文、面接の結果を総合して行います。

各学部の試験教科・科目は１１～２６ページの「5 試験教科・科目」を参照してください。

１．試験科目設定の意図

（１）経済学部

高等学校では基本科目を幅広く学んでください。一般選抜では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。後期日程では数学か英語のいずれかに秀でた人を求めます。

（２）経営学部

高等学校では、基本科目を幅広く学ぶとともに、とりわけ数学と英語の学力向上に努めてください。一般選抜では論理的思考力と国際コミュニケーション能力を重視します。後期日程では数学および英語の両方に優れた人を求めます。

（３）理工学部

高等学校で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語、情報の幅広い基礎的な能力を前提とし、理工学の専門分野の特性を考慮し、数学と理科および英語の知識、技能および思考力を特に重視します。

機械・材料・海洋系学科

機械・材料・海洋系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力をしっかり身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の後期日程では、数学および物理・化学を課し、その科目に秀でた人を求めます。

化学・生命系学科

高等学校では、化学はもちろんのこと、数学や物理、生物などの基本科目を学び、知識を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜では、化学をはじめ、数学や物理に秀でた人を求めます。

理科は後期日程では物理と化学を課します。

数物・電子情報系学科

数物・電子情報系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の後期日程では、特に数学と物理・化学に秀でた人を求めますが、国際性を考慮し、大学入学共通テストにおいては外国語を重視して考査します。

（４）都市科学部

都市社会共生学科

高等学校では、文理双方の基礎科目を幅広く学んでください。

一般選抜の後期日程では、面接試験を課すことで、総合的な思考力を問います。

建築学科

高等学校では、建築学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の後期日程では、数学、理科を必須科目とすることで、論理的能力に秀でた人を求めます。

都市基盤学科

高等学校では、都市基盤学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の後期日程では、数学、理科を必須科目とすることで、論理的能力に秀でた人を求めます。

環境リスク共生学科

高等学校では、英語、数学、国語、地理歴史・公民、理科の基礎科目をしっかり学んでください。

一般選抜の後期日程では数学と小論文を課して論理的思考力と表現力に秀でた人を求めます。

２．２段階選抜（後期日程）

本学では２段階選抜を実施しません。

３．個別テスト等日程（後期日程）

各学部等で指定した「受験を要する教科・科目等」をすべて受験してください。
１科目でも受験していない者は、合格者とはなりません。
試験日には、「本学の受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両受験票を必ず持参してください。

学部・学科		試験区分	試 験 日	出題教科	時　間
経済学部	経済学科	個別ﾃｽﾄ	３月１２日(金) 集合時間 数　学　9:30 外国語 13:00	数　学	10:00～12:00
				外国語	13:30～15:00
経営学部	経営学科	個別ﾃｽﾄ	３月１２日(金) 集合時間 9:30	数　学	10:00～12:00
				外国語	13:30～15:00
理工学部	機械・材料・海洋系学科 化学・生命系学科 数物・電子情報系学科	個別ﾃｽﾄ	３月１２日(金) 集合時間 9:00	数　学	9:30～12:00
				理　科	13:30～15:30
都市科学部	都市社会共生学科	面接	３月１２日(金) 集合時間 9:00	面　接	9:15～
	建築学科 都市基盤学科	個別ﾃｽﾄ	３月１２日(金) 集合時間 9:00	数　学	9:30～12:00
				理　科	13:30～15:30
	環境リスク共生学科	個別ﾃｽﾄ	３月１２日(金) 集合時間 9:00	数　学	9:30～12:00
		小論文		小論文	13:30～15:00

（注）経済学部では、出願時に選択した数学又は外国語のいずれかを受験してください。
（注）都市科学部都市社会共生学科では、受験者多数の場合、面接時間までの待機時間が長くなる場合があります。

※集合時間については予定時間です。受験票と一緒にダウンロードする「令和９年度教科・科目に係る個別テスト等受験上の注意」で再度確認をしてください。
なお、試験場への入場開始時刻は８時を予定しています。

４．合格者発表（後期日程）

（１）合格者発表

下記日時に、合否照会システム（受験番号と暗証番号（生年月日半角数字６桁）で認証します：https://www.gouhi.com/ynu/）での発表と、合格者のみへ「合格通知書」及び「入学手続の案内資料」等を速達郵便で発送します。

後期日程合格者発表日時	**令和９年(2027年)３月２０日（土）１２時頃**

（注１）合格者発表の合否照会システムでの確認期間は、入学手続期間最終日までとします。
（注２）本学構内における合格者受験番号の掲示発表は行いません。
（注３）合格者発表直後は、回線が混み合い接続に時間がかかる場合があります。その場合は、少し時間をあけて接続しなおしてください。
（注４）電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

（２）欠員の補充等（追加合格等）

入学手続締切期日後に入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格により欠員補充を行います。また、必要がある場合には欠員補充第２次募集を行います。

①追加合格等の実施の有無

令和９年(2027 年)３月２８日（日）までに本学ウェブサイトにて情報を掲載します。

（本学ウェブサイトアドレス　https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/release/index.html）

②追加合格者への連絡

追加合格を実施する場合は、令和９年(2027 年)３月２８日（日）から３月３１日（水）まで、追加合格該当者に対し合格を通知します。入学の意思について、志願者本人（保護者等の代理は認められません。）に確認をしますので、志願者本人に連絡が取れるようにしておいてください。

本学からの連絡は、ウェブ出願登録時に登録した「志願者住所・連絡先(合格通知等送付先)」の連絡先へ、電話等により直接志願者本人に連絡します。本学からの連絡が確実に受けられるようにしておいてください。

本学から連絡の際、再度にわたる電話連絡にも関わらず、不在等のため志願者本人の意思確認ができなかった場合や、すみやかに意思表明されなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

合格者には、合格通知書及び入学手続の案内資料を郵送します。

※追加合格等を実施した場合、当初の合格者発表において入学手続を完了した者については、学科・コース・教育プログラム等の変更は行いません。

５．入学手続（後期日程）

合格通知を受けた者は、**郵送(書留速達)**により下記の入学手続期間に入学手続を行ってください。入学手続の詳細は、合格通知書とともに郵送する入学手続の案内資料で確認してください。

本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学･学部に入学手続を行うことはできません。

(1) 入学手続期間

入学手続は下記の期間内とし、期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取扱い、これ以降の入学手続を認めません。

令和９年(2027年)３月２１日（日）から令和９年(2027年)３月２７日（土）まで必着

※令和９年(2027年)３月２７日（土）に限り、学務・国際戦略部入試課窓口でも受け付けます。
（受付時間：１３時～１７時）

（２）入学手続に必要な書類

①国公立大学入学確認票
②卒業（修了）証明書　【高等学校等を卒業（修了）見込みで受験した者のみ】
③その他の書類等　　合格通知書に同封する「入学手続の案内資料」で指示します。

（３）入学料（入学手続時に必要）

入学料　　２８２,０００円（現行）

※入学料は、改定される場合があります。

（注）金融機関において１０万円を超える現金の振込みを行う場合には、**本人確認書類の提示**が必要となります。

（４）入学後に必要な学生納付金

授業料

半期分　２６７,９００円（現行）

年　額　５３５,８００円（現行）

（注1）授業料は、改定される場合があります。

（注2）在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

（注3）授業料については、入学後に口座振替により納付することになります。

（５）入学手続きに関する留意事項

①入学手続完了者が事情により入学辞退した場合、いかなる理由があっても入学料は返還できません。

②入学料および授業料の納付が困難な者に対して、一定の条件の下に選考の上、納付を免除・徴収猶予する制度があります。申請要領等については、６０ページを参照してください。

③入学料・授業料以外の諸経費として、学生教育研究災害傷害保険料、TOEFL-ITP受験料（必修英語科目の習熟度別クラス編成および単位認定に利用）、校友会費・同窓会費の納付について、入学手続時にお知らせします。

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願システムにアクセス → STEP 3 マイページの登録 → STEP 4 出願内容の登録 → STEP 5 入学検定料の支払い → STEP 6 必要書類の郵送 → STEP 7 出願完了 → 受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
「一般選抜学生募集要項」をよく読み、必要書類および入試制度を十分に確認してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続は「Web方式」になります。
大学入学共通テスト出願サイトのマイページにある「出願内容確認・訂正」から「申込番号」を確認し、控えておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ、自己推薦書など
（自己推薦書の様式は、一般選抜学生募集要項の巻末にあります）



STEP 2 Web出願システムにアクセス

Web出願システム ▶ **https://e-apply.jp/ds/ynu/**

または、

大学ウェブサイト ▶ **https://www.ynu.ac.jp/exam/websystem.html**

からアクセス



STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 > を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。

※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



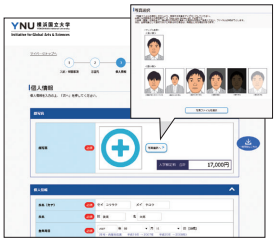
①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



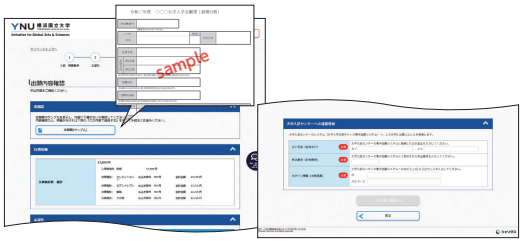
③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

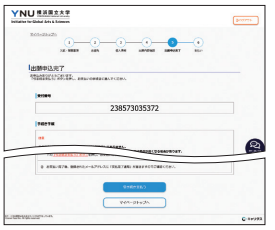


⑤個人情報（氏名・住所等）の
入力



⑥出願内容の確認及び登録
志願票（サンプル） ボタンをクリックすると志願票が確認できます。

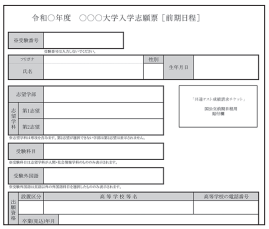
大学入試センターへの連携情報の入力
※入力に必要な情報は大学入試センターの
「大学入学共通テスト出願システム」のマイページから確認してください。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ（11桁）											

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ（11桁）											

確認番号 メモ（6桁）						

収納機関番号 （5桁）	5	8	0	2	1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
LAWSON
MINISTOP
マルチコピー機
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
レジで「オンライン決済」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

ローソン ミニストップ

Loppi
「各種番号をお持ちの方」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「マルチペイメントサービス」を選択
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

ファミリーマート

マルチコピー機
「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

セイコーマート

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う
ご利用明細書を必ず受け取る

STEP 6

必要書類の印刷と郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。

必要書類

Web志願票



＋

調査書

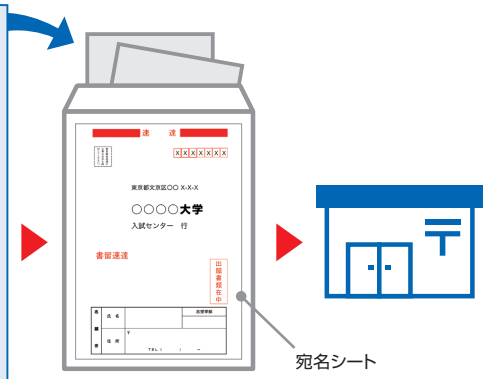


※開封無効

＋

自己推薦書





出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒（24㎝×33.2㎝）に貼り付けて作成

送付先	宛名シート参照

■出願書類

詳細は学生募集要項の「出願書類等」を確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



(1) マイページに表示された 志願票(印刷) のボタンをクリックしてください。

(2) お支払いが正常に完了すると 志願票(印刷) のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はWeb出願システムでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

Web出願システムの登録は24時間可能です。ただし、出願登録と入学検定料の支払いはWeb出願登録締切日17時までです。
出願書類は郵送出願締切日までに大学へ到着するよう郵送してください。指定日時までに到着した場合に限り出願締切日前日の消印を有効としますが、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7

受験票の印刷

本学で出願を確認後、指定日までに一斉に受験票を配信します。
Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、
必ず印刷し、試験当日持参してください（※郵送はいたしません）。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。





【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。

９　入試情報の提供等

Ⅰ　入試情報の提供

本学では、令和９年度(2027 年度)一般選抜に関する情報を、以下のとおり提供します。

１．横浜国立大学ウェブサイト　https://www.ynu.ac.jp/applicant/index.html

提　供　情　報	提　供　期　間
各学部の志願者数　※	令和９年(2027 年)１月２６日（火）～２月　４日（木）
追加合格等の実施状況	令和９年(2027 年)３月２８日（日）～３月３１日（水）

※ 志願者数については、前日までの情報を各日９時頃に更新予定です。

２．入試情報の開示

横浜国立大学では、入試情報の開示を次のとおり行います。

(1) 入試問題の正解・解答例等の情報開示

①入試問題（面接・実技を除く）の正解・解答例または出題意図（合格者発表後に開示します。）

横浜国立大学＞入試情報＞学部入試＞入試の情報開示
https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/public/index.html

②合格者の最高点、最低点、平均点（令和９年(2027 年)４月中旬に開示します。）

ただし、合格者が５人未満の場合は開示しません。

注）経済学部前期日程、後期日程及び経営学部前期日程については、偏差値の合計を併記します。

横浜国立大学＞入試・入学＞学部入試＞過去の入試データ
https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/enforce/index.html

(2) 入試個人成績の情報開示

一般選抜の総合点（大学入学共通テスト及び個別テスト等の合計）及び調査書記載事項の学習成績の状況及び学習成績を開示します。経済学部の前期日程、後期日程及び経営学部の前期日程については、偏差値の合計で開示します。

①開示対象者

ウェブ出願登録時に申請した者を対象とします。

ウェブ出願登録期間　令和９年(2027年)１月２２日（金）～２月２日（火）

②開示内容

(ｱ) 試験成績：総合点（大学入学共通テスト及び個別テスト等の合計）を開示します。

注）経済学部前期日程、後期日程及び経営学部前期日程については、偏差値の合計で開示します。

(ｲ) 調 査 書：調査書記載事項の全体の学習成績の状況及び学習成績概評のみ開示します。

③請求方法

入試個人成績の情報開示を希望する志願者は、ウェブ出願登録時に、試験成績開示請求項目の「申請する」を必ず選択してください。出願後のメール、電話等による個別の開示請求は受け付けません。

「申請する」を選択した場合、１回の出願につき開示請求手数料５００円が別途必要です。入学検定料と併せて支払ってください。

なお、払込済の開示請求手数料は、３２ページ、４５ページの「７.入学検定料の返還」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

④開示方法
ウェブ出願サイトのマイページ上で開示します。ログインするためのＩＤとパスワードは必ず控えてください。
特にパスワードを忘れた際は、出願時に登録したメールアドレスでのみ、リセットの作業が可能になります。

⑤開示期間
令和９年(2027年) ５月１７日（月）～６月１６日（水）

Ⅱ　個人情報の取り扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

(1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等（教育学部の個別テスト等に関する提出書類を含む）に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、以下の目的のために利用します。

①合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付、生協資料の送付）及び入学手続業務
②入学後のクラス編成及び各種制度の対象者本人の申請に基づく入学料免除・授業料免除等の福利厚生事業
③入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）
④本学における広報・諸調査・研究（入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・分析を含む）
⑤入学者の個人情報について本学関連団体である校友会及び同窓会の入会手続きに必要な範囲で提供する場合があります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。
それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

(2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(3) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

１０　入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度

本学における入学料及び授業料の減免は、原則として（独）日本学生支援機構による「高等教育の修学支援新制度」に基づき支援を行います。

「高等教育の修学支援新制度」とは、意欲と能力のある若者が経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう、住民税非課税世帯やそれに準ずる世帯および多子世帯（扶養する子どもが3人以上いる世帯）の学部生（留学生を除く）を対象として、以下の支援を行うものです。

- ●「給付奨学金」　※原則として返還不要
- ●「入学料減免」　※新入生のみ（１回限り）
- ●「授業料減免」

「高等教育の修学支援新制度」による支援を希望する場合、「給付奨学金」に申し込むことで、「入学料減免」「授業料減免」の支援も受けることができます。学業成績・学修意欲等に係る基準、家計の経済状況（マイナンバーに紐づく公的な所得情報で審査）に係る基準、その他の基準（大学等への入学時期等、在留資格等の基準）を全て満たす学生全員が支援を受けられます。

令和7年度（2025年度）から始まった**多子世帯（扶養する子どもの数が3人以上いる世帯）を対象とした授業料等無償化の制度**も、この「給付奨学金」の一環として実施されますので、多子世帯に該当する方でこの支援を希望する場合、「給付奨学金」に申し込む必要があります。なお、多子世帯の学生は所得の制限なく「入学料減免」「授業料減免」の支援が受けられます。（ただし、学業成績・学修意欲等に係る基準、大学等への入学時期等、在留資格等のその他の基準は満たす必要があります。）

「給付奨学金」に申し込む場合（大学入学後の申し込みを検討している場合、高等学校等在学中に「予約採用」の手続きを行っている場合等も含む）、入学料・授業料の納付期日が免除結果発表（入学後の7月末頃予定）後まで猶予されます。入学手続時には入学料免除・徴収猶予への仮申請を行い、入学料を納付せず入学手続を完了させてください。詳細は合格者へ案内する入学手続書類にてお知らせします。（ただし、入学料免除・徴収猶予の仮申請手続を行って入学料を納付せず入学手続を完了させた後に、他大学へ進学する等の理由で本学への入学の辞退を希望する場合、入学辞退を申し出た時点で入学料免除・徴収猶予への仮申請は無効となり、入学料未納者として入学料の納付義務が生じます。）

本学における「高等教育の修学支援新制度」の申請時期、申請方法等の詳細は合格者へ案内する入学手続書類にてお知らせします。

なお、各制度の詳細は以下のウェブサイト等にてご確認ください。

○高等教育の修学支援新制度【文部科学省ウェブサイト】 https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm
○高等教育の修学支援新制度【（独）日本学生支援機構（JASSO）ウェブサイト】 https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html
○進学資金シミュレーター【（独）日本学生支援機構（JASSO）ウェブサイト】 （給付奨学金の該当区分や支援額についてシミュレーションすることができます） https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/
○（参考）横浜国立大学独自の入学料／授業料免除・徴収猶予【横浜国立大学 学生支援課ウェブサイト】 https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/expense/tuition/

本件問い合わせ先　　学務・国際戦略部 学生支援課 経済支援係（学生センター2階①窓口）
窓口時間：8：30～12：45／13：45～17：00（土・日・祝日除く）
TEL：045-339-3112（日本学生支援機構奨学金）3113（入学料／授業料免除・徴収猶予）
メール：gakusei.keizai@ynu.ac.jp

学生の住居施設

2027年春季募集

※出願や合格発表より前に入居申請手続きが必要となる場合があります。
申請期間の詳細は、各寮のウェブサイトを確認するか、各「お問い合わせ先」に確認してください。

1.学生寮について

横浜国立大学には、学生生活をサポートする3つの学生寮があります。「峰沢国際交流会館」、「常盤台インターナショナルレジデンス」、「大岡インターナショナルレジデンス」は、日本人学生と外国人留学生が共同生活を通して異文化交流を体験できる寮です。峰沢国際交流会館は横浜国立大学学務・国際戦略部学生支援課が、常盤台インターナショナルレジデンスと大岡インターナショナルレジデンスは民間会社が管理運営をしています。なお、記載されている寄宿料・共益費の金額は改定する場合があります。

(1)峰沢国際交流会館

キャンパス至近の寮。東通用門から徒歩5分。日本人 222 名、外国人留学生 110 名が居住可能。
居住棟:A棟(男子:1・2階 62 室、女子:3・4階 58 室)、B棟(男子棟、5階建、140 室)、C棟(女子棟、3階建、72 室)
共用棟:3階建

居住棟	居室	全室個室、ベッド、机、デスクライト、椅子、エアコン、ユニット型洗面・トイレ、ブラインド、電話端子、テレビ共聴アンテナ端子、インターネット
	共通施設	補食室(流し台、ガスコンロ、食器棚、瞬間湯沸器、電子レンジ、トースター、冷蔵庫)、シャワー室、郵便受け、自動販売機(B棟のみ)
共用棟	1 階	交流室、男子洗濯室(コイン式)、女子洗濯室(コイン式)、自動販売機
	2 階	事務室、ホール
	3 階	会議室、ラウンジ、ホール

【日本人学生】

① 入居資格:本学の学部・大学院に在学する正規生
＊既に峰沢国際交流会館に2年間入居した者は除く。

② 入居期間:2 年以内

③ 選考・決定方法:2026 年10月または2027 年 4 月入学生で本学が定める収入基準を下回り、かつ、通学所要時間が 1 時間 30 分以上の者を優先して選考を行います。
入居有資格者の応募が入居定員を超える場合は、抽選を行います。
入居当選発表は、一般入試前期日程及び後期日程の合格発表日に学生支援課ウェブサイトで行います。
＊収入基準を上回る者でも申請可能です。
＊優先順位等の選考基準については募集要項で確認してください。

https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/

④ 入居者の経費負担:電気、水道、ガス等の料金は別途負担

部屋の種類	寄宿料(月額)	共益費	合計
単身室(12 ㎡)	5,700 円	入居月以外:月額 6,000 円	入居月以外:月額 11,700 円
		入居月のみ: 26,000 円	入居月のみ: 31,700 円

＊入居月は共益費が 6,000 円+退去時清掃費20,000円の徴収となります。

⑤ 募集要項配付・申請受付期間
配付期間:2027 年 2 月上旬発表予定
・学生支援課ウェブサイトからダウンロード https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/

受付期間:2027 年 2 月上旬~2 月中旬 **＊出願・合格発表前でも、左記期間内に申請が必要です。**
応募は原則、「入居応募フォーム申請(ウェブ)」と「申請書類提出(郵送)」の両方をもって申請とします。
＊詳細は募集要項で確認してください。
＊インターネットが利用できない場合は、下記の【峰沢国際交流会館に関するお問い合わせ先】まで連絡してください。

【外国人留学生】

① 入居資格:本学に学部生・大学院生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生として在学・在籍する外国人留学生
（2027 年 4 月入学予定者を含む）
＊既に峰沢国際交流会館または留学生会館（2026 年 3 月運用停止）に合計2年間入居した者は除く。

② 入居期間:1 年以内（留学生会館（2026 年 3 月運用停止）と合算）
ただし、空室がある場合に限り、2 年目の入居が許可される場合があります。

https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/

③ 選考・決定方法:応募者多数の場合、抽選を行います。
抽選結果発表は 2 月中旬頃に学生支援課ウェブサイトで行います。
＊優先順位等の選考基準については外国人留学生用の募集要項で確認してください。

④ 入居者の経費負担:電気、水道、ガス等の料金は別途負担

部屋の種類	寄宿料（月額）	共益費	合計
単身室（12 ㎡）	5,700 円	入居月以外:月額　6,000 円	入居月以外:月額　11,700 円
		入居月のみ:　26,000 円	入居月のみ:　31,700 円

＊入居月は共益費が 6,000 円+退去時清掃費 20,000 円の徴収となります。

⑤ 募集要項配付・申請受付期間
配付期間:2027 年 1 月中旬発表予定
・学生支援課ウェブサイトからダウンロード https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/

受付期間:2027 年 1 月中旬～1 月下旬 **＊出願・合格発表以前でも、左記期間内に申請が必要です。**
応募は原則、ウェブ申請とします。
＊詳細は募集要項で確認してください。
＊インターネットが利用できない場合は、下記の【峰沢国際交流会館に関するお問い合わせ先】まで連絡してください。

【峰沢国際交流会館に関するお問い合わせ先】

横浜国立大学　学務・国際戦略部　学生支援課　学生支援係
TEL:045-339-3190　Email:gakusei.gakusei@ynu.ac.jp
〒240-8501　横浜市保土ケ谷区常盤台79-8





(2) 常盤台インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生】

2019 年春に開館した常盤台キャンパス内にある新しい学生寮です。
部屋のタイプは、共同生活を通じ、多様な文化体験ができるシェアユニットタイプ（学生 8 人が共同生活）とプライベートタイプ（完全個室）があります。いずれも建物内で男女用エリアに分かれています。

住居	シェアユニット 112 戸 （8.25~8.84 ㎡）	【共用部】 リビング、キッチン、シャワー、トイレ、洗面台、エアコン、TV、本棚、炊飯器、ダイニングテーブル、チェア、電子レンジ、冷蔵庫、食器棚、電気ケトル 【居室（個室）】 ベッド、デスク、イス、冷蔵庫、クローゼット、デスクランプ、エアコン、天井照明
	プライベート 166 戸 （16.20~16.74 ㎡）	ミニキッチン、シャワー、トイレ、洗面台、エアコン、ベッド、デスク、イス、冷蔵庫、クローゼット、洗濯機置き場（洗濯機は付いていません）、デスクランプ、天井照明
共用部	交流スペース、コインランドリー、駐輪場、バイク置場、防犯カメラ、エレベーター5 基	

① 入居資格：2027 年 4 月に学部・大学院に入学および在籍している日本人学生、外国人留学生

② 入居期間：最長で修業年限までの年数内

③ 選考・決定方法：2027 年 2 月頃ウェブサイトで発表

④ 入居者の負担額

部屋の種類	賃料（月額）	共益費（月額）	水道光熱費（月額） ＊電気・ガス・水道インターネット代含	入居一時金	再契約時 事務手数料
シェアユニット	38,000 円	7,000 円	15,510 円（税込）	66,000 円（税込）	16,500 円（税込）
プライベート	51,000 円	7,000 円	15,510 円（税込）	66,000 円（税込）	16,500 円（税込）

⑤ 募集要項配付・申請受付期間　2027 年 2 月発表予定
配付：常盤台インターナショナルレジデンスウェブサイト　https://tokiwadai-ir.jp

⑥ お問い合わせ先　常盤台インターナショナルレジデンス管理事務所
TEL：045-900-1451　Email：tokiwadai@japt.co.jp
〒240-0067 横浜市保土ケ谷区常盤台 79-9

https://tokiwadai-ir.jp/





(3) 大岡インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生】

2010 年 7 月に開館した外国人留学生、日本人学生、外国人研究者、大学教職員が居住する、異文化共生ハウス。
大学までの通学時間は約 1 時間。
建物 1 階にはコンビニエンスストアが入っており、地下鉄「弘明寺」駅および弘明寺商店街まで徒歩 3 分。
ワンルームは1~4 階が男子用、5・6 階が女子用。1K は 1~5 階で男女混合となっています。

住居	ワンルーム 252 戸 (12.26~12.55 ㎡)	ベッド、デスク、イス、デスクランプ、クローゼット、トイレ、洗面台、天井照明、エアコン、冷蔵庫など ※キッチン、シャワー、ランドリーは共同になります
	1K 室　26 戸 (28.63~28.76 ㎡)	ベッド、デスク、イス、デスクランプ、クローゼット、トイレ、洗面台、天井照明、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、浴室、キッチンなど
共用部	カルチャーホール、各階キッチンラウンジ、各階シャワー・ランドリー室、喫煙所、駐輪場、バイク置場、1F コンビニ、オートロック、防犯カメラ、エレベーター2 基など	

① 入居資格:2027 年 4 月に学部・大学院に入学および在籍している日本人学生、外国人留学生

② 入居期間:最長で修業年限までの年数内

③ 選考・決定方法:申込順(地理的状況、収入基準による選考基準無し、定員になり次第応募締切)
＊詳細は 2027 年 2 月頃発表

④ 入居者の負担額

部屋の種類	賃料(月額)	共益費(月額)	入居一時金	再契約時 事務手数料
ワンルーム	37,000 円	12,000 円＊インターネット代・水道代含	66,000 円(税込)	16,500 円(税込)
1K	67,000 円	7,700 円＊インターネット代含	66,000 円(税込)	16,500 円(税込)

(ワンルーム):電気代、コインランドリー・シャワー代は別途負担
(1　　K):電気代、ガス代、水道代は別途負担

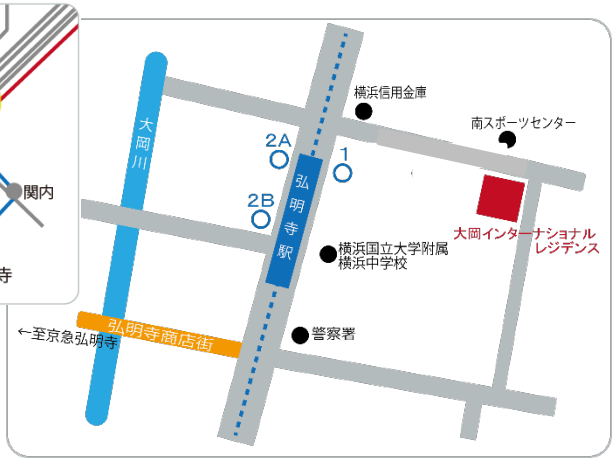
⑤ 募集要項配付・申請受付期間　2027 年 2 月発表予定
配付:大岡インターナショナルレジデンスウェブサイト　https://www.int-residence.jp

http://www.int-residence.jp/

⑥ お問い合わせ先　大岡インターナショナルレジデンス管理事務所
TEL:045-712-8870　Email:residence@japt.co.jp
〒232-0061　横浜市南区大岡 2-31-2







2. 下宿・アパート等について

民間の下宿・アパート等を希望している方(学生寮の入居選考から外れた者を含む)のために、
横浜国立大学生活協同組合が学生生活に適した物件を紹介しています。

https://www.univcoop.jp/ynu/index.html

・資料請求・お問い合わせ先 横浜国立大学生活協同組合
TEL:045-331-5217
〒240-8501 横浜市保土ケ谷区常盤台79-10
ウェブサイト:https://www.univcoop.jp/ynu/index.html
https://sumai.ynu-coop.jp
(横浜国立大学生協 物件情報検索サイト)

https://sumai.ynu-coop.jp/

受験を要する大学入学共通テストの教科・科目等自己確認表

(1) 志望学部・学科等が指定する「受験を要する教科・科目等」を受験したかをこの表により確認したうえで出願してください。出願書類として提出する必要はありません。
(2) 都市科学部は都市社会共生学科用と建築学科、都市基盤学科及び環境リスク共生学科用に分かれています。
(3) 確認は、各自で当該表の確認欄に○印等を記入するなどしてください。
(4) 「地理総合／歴史総合／公共」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。
(5) 出願受付後に各学部・学科等が指定する教科・科目を受験していないことが判明した場合、(地理歴史・公民において、1科目を指定している場合で2科目受験したものは、第1解答科目で指定した科目を受験していない場合も含む。) 個別テスト等を受験できない旨の通知書を本人宛に送付します。
(6) 科目選択に関する各学部の注意事項は、１１～２６ページを確認してください。

① 教育学部

地理歴史・公民から１科目の場合　６教科８科目
地理歴史・公民から２科目の場合　６教科８科目又は７教科８科目

教科	科目等	受験を要する科目数		前期日程確認欄	後期日程確認欄
国	「国語」	1			
地歴	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」	1又は2	3		
公民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」				
理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」	1又は2			
	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
数	「数学Ⅰ，数学A」	1			
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	1			
外	「英語」(含リスニング)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1			
情報	「情報Ⅰ」	1			

② 経済学部

(前期日程) 地歴・公民から１科目の場合　６教科８科目
地歴・公民から２科目の場合　６教科８科目又は７教科８科目
(後期日程)　６教科７科目

教科	科目等	受験を要する科目数		前期日程確認欄	後期日程確認欄
国	「国語」	1			
地歴	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」，	(前期) 1又は2 (後期) 1	(前期) 3 (後期) 2		
	「歴史総合，世界史探究」				
公民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」				
理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」	(前期) 1又は2 (後期) 1			
	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
数	「数学Ⅰ，数学A」	1			
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	1			
外	「英語」(含リスニング)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1			
情報	「情報Ⅰ」	1			

③経営学部

６教科７科目

教科	科目等	受験を要する科目数	前期日程確認欄	後期日程確認欄
国	「国語」	1		
地歴	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」	1		
公民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」			
数	「数学Ⅰ，数学A」	1		
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	1		
理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」	1		
	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」			
外	「英語」（含リスニング）、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1		
情報	「情報Ⅰ」	1		

④理工学部

６教科８科目

教科	科目等	受験を要する科目数	前期日程確認欄	後期日程確認欄
国	「国語」	1		
地歴	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」	1		
公民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」			
数	「数学Ⅰ，数学A」	1		
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	1		
理	「物理」、「化学」、「生物（化学・生命系学科のみ）」	2		
外	「英語」（含リスニング）	1		
情報	「情報Ⅰ」	1		

⑤都市科学部

都市社会共生学科

情報を利用する場合　　６教科７科目又は７教科７科目
情報を利用しない場合　５教科７科目又は６教科７科目

教科	科目等	受験を要する科目数		前期日程確認欄	後期日程確認欄
国	「国語」	1			
数	「数学Ⅰ，数学A」	1			
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	1			
外	「英語」(含リスニング)、 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1			
地歴	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、 「歴史総合，世界史探究」	1又は2	3		
公民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」				
	「地理総合／歴史総合／公共」				
理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」	1又は2			
	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
情報	「情報Ⅰ」				

建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科

６教科８科目

教科	科目等	受験を要する科目数	前期日程確認欄	後期日程確認欄
国	「国語」	1		
地歴	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、 「歴史総合，世界史探究」	1		
公民	「公共，倫理」、「公共，政治・経済」			
理	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	2		
数	「数学Ⅰ，数学A」	1		
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	1		
外	「英語」(含リスニング)、 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1		
情報	「情報Ⅰ」	1		

共通テスト　地理歴史・公民２科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧

以下の表に加え、各学部や選抜の利用教科・科目を各自で十分に確認してください。

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2"></th><th rowspan="2">「地理総合，
地理探究」</th><th rowspan="2">「歴史総合，
日本史探究」</th><th rowspan="2">「歴史総合，
世界史探究」</th><th rowspan="2">「公共，倫理」</th><th rowspan="2">「公共，
政治・経済」</th><th colspan="3">「地理総合／歴史総合／公共」</th></tr>
<tr><th>「地理総合」
「歴史総合」</th><th>「地理総合」
「公共」</th><th>「歴史総合」
「公共」</th></tr>
<tr><td colspan="3">「地理総合，地理探究」</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="3">「歴史総合，日本史探究」</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td colspan="3">「歴史総合，世界史探究」</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td colspan="3">「公共，倫理」</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td colspan="3">「公共，政治・経済」</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td></td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">「地理総合／歴史総合／公共」</td><td rowspan="3">選択パターン</td><td>「地理総合」
「歴史総合」</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="3" rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>「地理総合」
「公共」</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>「歴史総合」
「公共」</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
</table>

横浜国立大学一般選抜出願書類チェックリスト

（この用紙は、出願時に提出する必要はありません）

【入学検定料支払い後の手続き】

1 市販の角形２号封筒に、「出願書類提出用宛名シート」を貼り付けてください。

2 次の３点を、上記１の封筒に封入してください。1つでも不足する場合、出願は受理されません。

封入チェック欄	提出書類	注意点
	志願票	**記載内容の修正や追記をしないでください（手書き・PDF編集ともに不可）。誤りを見つけた場合の対処方法は、前期日程は２９ページ、後期日程は４２ページを確認してください。**
	調査書等	調査書の提出対象者ではない場合は、学生募集要項に記載されている他の指定書類を封入してください。
	自己推薦書	学生募集要項巻末の様式又はウェブ出願登録後にダウンロードできる様式のいずれか（記載内容は同一）をダウンロード・印刷してから、指定された内容を記入してください。

※ 入学資格認定者は、上記３点の他に入学資格認定証明書を封入してください。
※ 本学の一般選抜における大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続は、「Web方式」を採用します。「共通テスト成績請求チケット」の提出は必要ありません。
※ 出願書類の詳細については、前期日程は３１ページ、後期日程は４４ページを確認してください。

3 上記２の書類を全て封入した封筒を、出願期間内に郵便局窓口から書留速達郵便で郵送してください。

出願はウェブ出願システムでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

【その他】

○ 本学の前期日程と後期日程両方の選抜に併願する場合は、日程ごとに必要書類を取り揃え、日程ごとの「出願書類提出用宛名シート」を使用して別々に郵送してください。
○ 出願書類の受付状況は、志願者自身によりウェブ出願システムのマイページ上で確認してください。出願ステータスが「出願申込確定」と表示されていれば、受付されています。
○ 入学検定料免除者向けのチェックリストは別に用意します。該当者はウェブ出願システムでの登録後にダウンロードできるチェックリストを使用してください。

横浜国立大学学務・国際戦略部入試課

「こども性暴力防止法」令和 8（2026）年 12 月 25 日施行にあたり、
出願前にご確認いただきたい重要事項について
～実習生も性犯罪前科の有無の確認が求められる可能性があります～

こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）の施行により、令和 8（2026）年 12 月 25 日より、学校、保育所、学習塾など、こどもに対して教育・保育等を行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。

これらの事業者において実習等を行う実習生（例：教育実習生）についても特定性犯罪前科の有無の確認が求められる場合がありますので、重要な事項をお知らせします。

①教育実習前の犯罪事実確認について

１．実習計画において、こどもと一対一になることが実習上予定されている、実習期間が相当長期にわたるなど、実習生がこどもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有する実習であると判断された場合、特定性犯罪前科の有無の確認が必要となる場合があります。なお、特定性犯罪前科の有無の確認が必要かについて最終的な判断は実習先の事業者が行います。

２．特定性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁へ戸籍等の提出が必要となります。

３．特定性犯罪前科があると確認された者は、こどもと接する実習を行うことはできません。

②教員免許状の取得について

①に記載の特定性犯罪前科が確認されたことによって教育実習を行えない場合、教員免許の取得要件を満たすことができません。

③卒業要件について

本学教育学部においては、教育実習が卒業のための必須科目となっています。したがって、①に記載の特定性犯罪前科が確認されたことによって教育実習を行えない場合、原則として卒業ができません。

④同意書・誓約書の提出について

本学教育学部においては、入学手続の際に本件に関する同意書及び誓約書をご提出いただくとともに、学校等における実習及び児童等と接する諸活動に参加する前に特定性犯罪前科がない旨を誓約いただきますので、ご承知置きくださるようお願いいたします。

なお、教育学部以外の学部で教職課程の履修を予定する者は、実習を行う蓋然性が高くなった段階で同意書・誓約書をご提出いただきます。

⑤出願（入学）に際してのお願い

上記の内容を十分にご理解いただいた上で、出願をご検討ください。

ご不明な点がございましたら、問い合わせ先までご連絡ください。

（お問い合わせ先）
学務・国際戦略部教育企画課教職免許係
E-mail：kyomu.chousa@ynu.ac.jp

【参考】制度の詳細はこちらをご覧ください。
・こども家庭庁 HP「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」
リンク：https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou

注）実習を行う場合以外においても、学生が、インターンシップやボランティア活動等を通じて対象事業者で児童等と接する業務に従事する場合には、当該対象事業者が当該学生を犯罪事実確認の対象と判断し、犯罪事実確認を求める可能性があります。

キャンパス案内図

※本学までの経路の詳細は、本学ウェブサイトの「アクセス案内」を参照してください。



【大学構内のバス停について】

路線バスは、以下の **1**～**7** の順序で停車します。（※平日のみの運行）

横浜国立大学正門前
1 ↓
国大中央 →→ **大学会館前**
2 ↓ ↑ 5　6　↓ 7
国 大 北　**国大南門**
3 ↓ ↑ 4
国 大 西 【折り返し】

※大学構内のバス停は、平日のみ利用可能です。
※構内の見学について
構内は 9 時～17 時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。
また、下記期間は見学できません。

大学入学共通テスト試験日（令和 9 年 1 月 16 日～17 日）
個別テスト等試験日（前期日程：令和 9 年 2 月 25 日）
個別テスト等試験日（後期日程：令和 9 年 3 月 12 日）

様式１－１

※大学使用欄

自己推薦書（教育学部用）

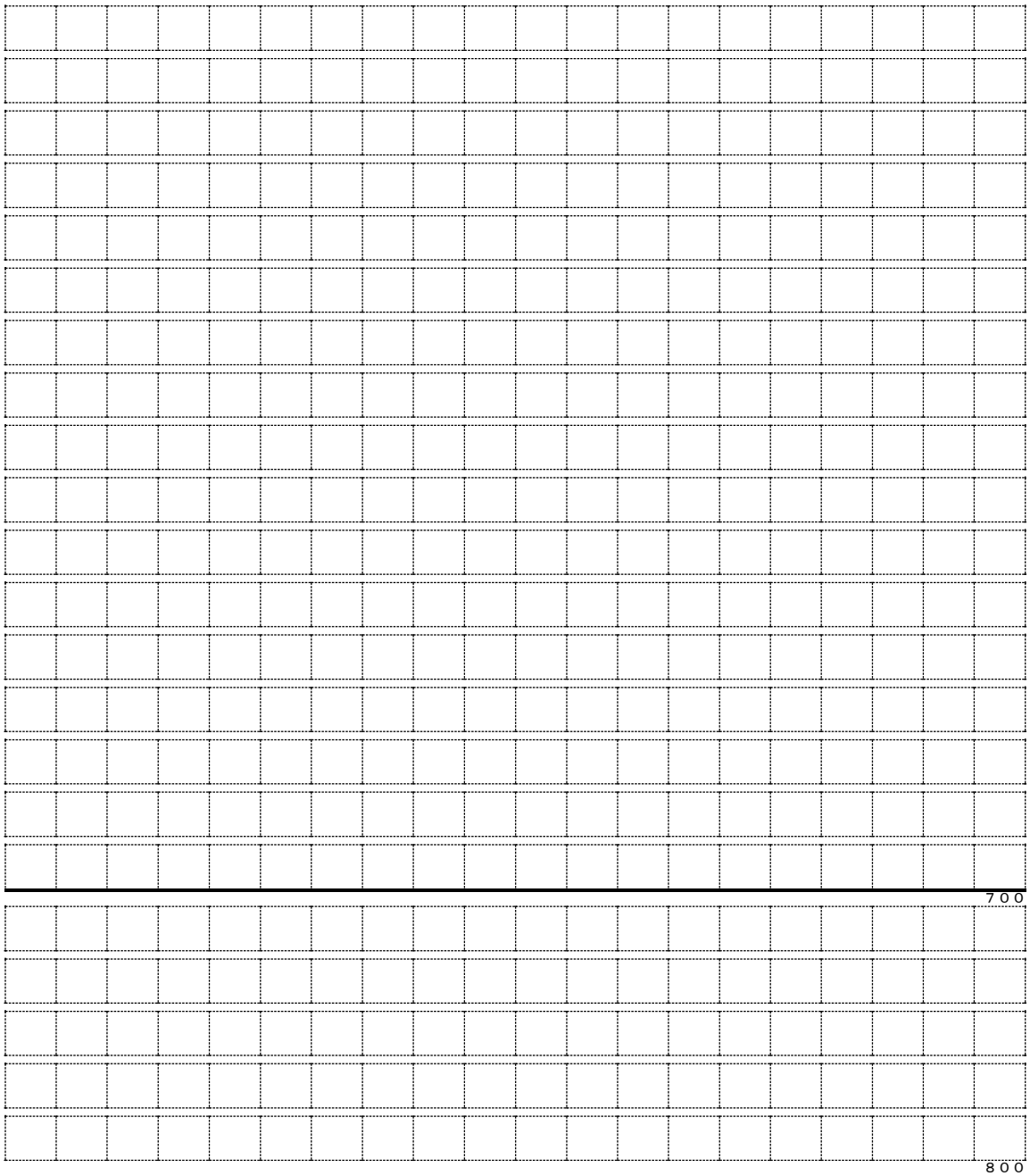
教育学部のアドミッション・ポリシーを踏まえた大学入学後の目標と、その目標を達成するために努力したいことを、700 字以上 800 字以内で黒のボールペンで記入してください。なお、「教職を目指すあなたの特筆すべき資質や適性」についても記入してください。志願者本人が自分で内容を考えて手書きした文章であること。指導者及び生成 AI 等が作成した文書の一部又は全部を使用することを禁じます。

また、これまでの生活の中で以下に挙げるような経験がある場合は、その活動内容について〔記入例〕を参考に、自己推薦書（教育学部用）補足資料に記入してください。

・高等学校や教育委員会等が行う教員養成のためのコースやセミナー等への参加、学校教育に関わる探究活動等
・教員養成系大学・学部が関わるイベント（高大連携に関連する公開講座等）への参加
・小学校の児童又は中学校の生徒とふれあう継続的な体験活動（ボランティア等）

令和　　年　　月　　日

（署名）


700
800

様式１－２

※大学使用欄

自己推薦書（教育学部用）補足資料

これまでの生活の中で以下に挙げる経験がある場合には、その内容を記入し、それを示す資料をＡ４判の用紙にコピーし、資料番号を書き込んだ上で添付してください。
「分類」欄には、以下のＡ～Ｃを記入してください。
Ａ．高等学校や教育委員会等が行う教員養成のためのコースやセミナー等への参加、学校教育に関わる探究活動等
Ｂ．教員養成系大学・学部が関わるイベント（高大連携に関連する公開講座等）への参加
Ｃ．小学校の児童又は中学校の生徒とふれあう継続的な体験活動（ボランティア等）

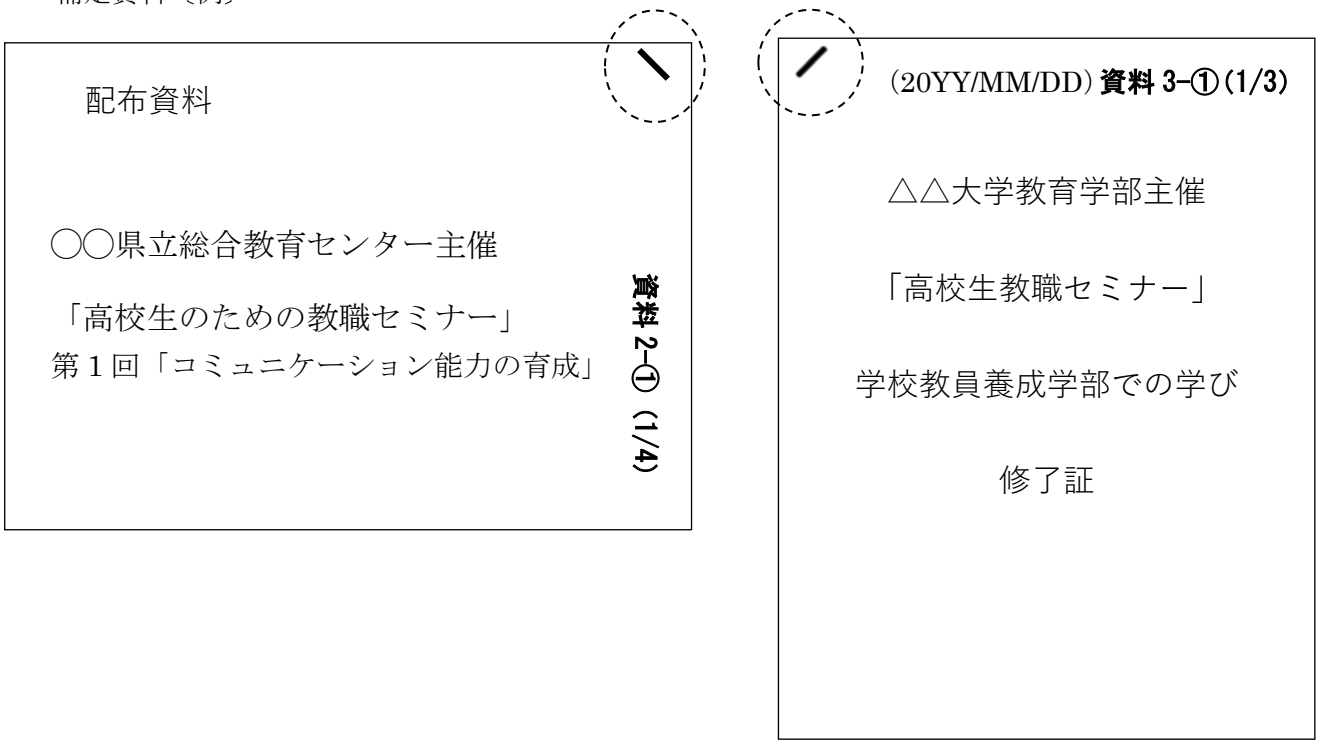
分類	活動の内容・日程等	おおよその期間・ 時間・回数・単位等	資料番号

［注］Ａ、Ｂ、Ｃに該当する経験が無い場合は、提出する必要はありません。

〔記入例〕

分類	活動の内容・日程等	おおよその期間・ 時間・回数・単位等	資料 番号
A	○○高等学校「教員養成○○」、「教員養成△△」を履修した。	高１～高２ 各２単位	資料１
A	○○県立総合教育センター主催「高校生のための教職セミナー」に参加した。 ① 第１回「コミュニケーション能力の育成」（2026/6/23） ② 第○回「△△△△△△△△△△」（2026/7/14） ③ 第○回「□□□□□□□□□□」（2026/7/28）	高３ ２時間×３講座	資料２
B	△△大学教育学部の教職セミナー（公開講座）に参加した。 ① 学校教員養成学部での学び（2025/11/19） ② ○○○○○○○○○○（2026/3/23） ③ □□□□□□□□□□（2026/7/14）	高２～高３ ２時間×３講座	資料３
B	○○大学教育学部オープンキャンパスの模擬授業に参加した。 タイトル「○○○○○○○○○○」（2025/6/25）	高２ 50 分×１講座	資料４
C	◇◇小学校放課後児童クラブでの学習支援を継続的に行った。	高１～高２ 月２回×２年間	資料５
C	○○市△△地区の小学生の野球チームのコーチを継続的に行った。	高１～高２ 月１回×２年間	資料６

補足資料〔例〕



［注１］補足資料には様式１－２と整合するように資料番号、ページ（※●ページ目/●ページ中）を、縦型資料の場合は右上角、横型資料の場合は右下角に記入してください。

［注２］補足資料が複数枚に渡る時には、資料ごとに縦型資料の場合は左上角、横型資料の場合は右上角をホチキス等で留めてください。

様式２

※大学使用欄

自己推薦書（経済学部・経営学部・理工学部・都市科学部用）

志望学部・学科等のアドミッション・ポリシーを踏まえた大学入学後の目標と、その目標を達成するために努力したいことを、300 字以上 400 字以内で手書きで記入してください。

理工学部の志願者は、第２志望の学科・EP がある場合、第２志望を含めて記入してもかまいません。

令和　　年　　月　　日

（署名）

300

400

◎ 入試情報
横浜国立大学 ウェブサイト　https://www.ynu.ac.jp/

◎ 本要項についての問い合わせ先
学務・国際戦略部入試課　　〒240-8501　横浜市保土ケ谷区常盤台 79-8
TEL：045-339-3121　E-mail：nyushi1@ynu.ac.jp

教 育 学 部（学務係）	TEL 045-339-3261
経 済 学 部（経済学務係）	TEL 045-339-3508、3509
経 営 学 部（経営学務係）	TEL 045-339-3663、3664
理 工 学 部（理工学部入試係）	TEL 045-339-3821
都市科学部（都市科学部学務係）	TEL 045-339-3124、4463

＊ 問い合わせは、志願者本人が行うこと。